

CITIZEN

POS for .NET DRIVER 1.14

セットアップガイド

Ver. 1.14.1.5 用

シチズン・システムズ株式会社

更新履歴

年月日	バージョン	履歴
2018/06/12	1. 14. 1. 0	新規
2019/01/08	1. 14. 1. 1	・プリンター機種追加(CT-S257)に伴う修正 ・スキャナー機種追加(BC-NL30000U)に伴う修正 ・対応インターフェース追加(IF2-BT03, IF2-BT04)に伴う修正
2019/02/04	1. 14. 1. 2	・プリンター機種追加(CT-S4500)に伴う修正 ・コードページに 65001(UTF-8)を追加
2020/12/10	1. 14. 1. 3	・プリンター機種追加(CT-S255-L, PMU3300)に伴う修正
2021/04/13	1. 14. 1. 4	・プリンター機種追加(CT-E301, CT-E601)に伴う修正
2023/08/25	1. 14. 1. 5	・プリンター機種追加(CT-S801III, CT-S851III)に伴う修正 (6, 7, 8, 23, 76 頁) ・ディスプレイ機種追加(DSP01-LT2, DSP02-LS2)に伴う修正 (10 頁)

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、事前の予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 上記に同意いただけない場合は、本ドライバーをご使用いただけません。

商標

Microsoft、Windows、Visual Studio、Visual Basic、Visual C#、Visual C++は、米国Microsoft Corporation（あるいは米国マイクロソフト・コーポレーション）の米国およびその他の国における登録商標です。（Windowsの正式名称はMicrosoft Windows Operating Systemです）

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

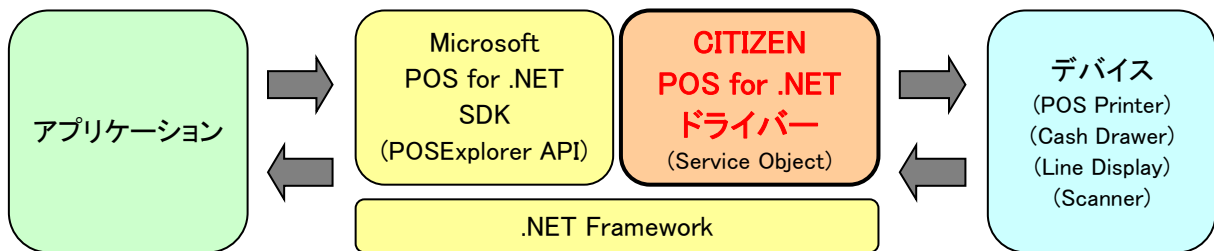
CITIZEN は、シチズン時計株式会社の登録商標です。

目 次

1. 動作環境	5
1.1. 対象オペレーティングシステム	5
1.2. 対象モデル(プリンター)	6
1.3. 対象モデル(周辺機器)	10
2. インストール	12
2.1. インストール手順	12
2.2. インストール構成	16
2.3. アンインストール手順	17
3. POS for .NETドライバ設定ツール	19
3.1. 新規プリンター・キャッシュドロワーの追加	20
3.2. 新規キャッシュドロワーの追加	32
3.3. 新規ラインディスプレイの追加	34
3.4. 新規バーコードスキャナーの追加	40
3.5. 論理デバイスの変更	46
3.6. デバイスの削除	48
3.7. デバイスのテスト	55
3.8. ファイルメニュー	60
3.9. ツールメニュー	62
3.10. ヘルプメニュー	64
4. プリンター設定	65
4.1. CT-E301 系	66
4.2. CT-E601 系	67
4.3. CT-S251 系	68
4.4. CT-S253 系	69
4.5. CT-S255 系	70
4.6. CT-S257 系	71
4.7. CT-S281 系	72
4.8. CT-S401 系	73
4.9. CT-S601/651/801/851 系	74
4.10. CT-S601II/651II/801II/851II 系	75
4.11. CT-S801III/851III 系	76
4.12. CT-S2000 系	77
4.13. CT-S4000 系	78
4.14. CT-S4500 系	79
4.15. PMU3300 系	80
5. バーコードスキャナー設定	81
5.1. SCNO1-Z1D	81
5.2. SCNO2-Z2D	81
5.3. BC-NL3000U	82

1. 動作環境

CITIZEN POS for .NET ドライバーは、「.NET Framework」を利用して、デバイスを制御します。



本ドライバーを使用するためには、別に「Microsoft POS for .NET SDK」と「.NET Framework」のセットアップが必要です。

1.1. 対象オペレーティングシステム

本製品は、以下の Microsoft Windows オペレーティングシステムに対応しています。

- ・ Windows 7 (32bit, 64bit)
- ・ Windows 8.1 (32bit, 64bit)
- ・ Windows 10 (32bit, 64bit)
- ・ Windows 11 (64bit)

Microsoft POS for .NET SDK

本製品をインストールする前に、「Microsoft Point of Service for .NET v1.14 (POS for .NET SDK)」および「Update for Microsoft Point of Service for .NET v1.14 (KB2959943)」をインストールしてください。

<https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=42081>

<https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=43350>

SDK には、ドキュメントやサンプルコードも含まれます。

.NET Framework

本製品は、以下のバージョンの Microsoft .NET Framework で使用してください。

- ・ Microsoft .NET Framework 4.5 以降

1.2. 対象モデル(プリンター)

本製品の対象モデルおよびそのモデルに対応するインターフェースは以下の通りです。

各モデルの機能詳細についてはプリンターの取扱説明書をご参照ください。

モデル系列	対象モデル	インターフェース	プリンター機能
CT-E301 系	CT-E301	シリアル, USB, Ethernet	標準
CT-E601 系	CT-E601	シリアル, USB, Ethernet, Bluetooth	標準
CT-S251 系	CT-S251	シリアル, USB, Ethernet, Bluetooth	標準
CT-S253 系	CT-S253	シリアル, USB, Ethernet	標準
CT-S255 系	CT-S255	シリアル, USB, Ethernet, Bluetooth	標準
	CT-S255-L		ブラックマーク/ラベル紙対応
CT-S257 系	CT-S255	シリアル, USB, Ethernet, Bluetooth	標準
CT-S281 系	CT-S281/281BT/281BD	シリアル, USB, Bluetooth	標準
	CT-S281-XL-M1	シリアル, USB	ブラックマーク紙対応
	CT-S281-XL		ラベル紙対応
CT-S401 系	CT-S401	シリアル, USB, Ethernet	標準
CT-S601/651/ 801/851 系	CT-S601/651/801/851	シリアル, パラレル, USB, Ethernet	標準
	CT-S801/851-M		ブラックマーク紙対応
	CT-S801-L		ラベル紙対応
CT-S601II/651II/ 801II/851II 系	CT-S601II/651II/ 801II/851II	シリアル, パラレル, USB, Ethernet, Bluetooth	標準
	CT-S801II/851II-M		ブラックマーク紙対応
	CT-S801II-L		ラベル紙対応
CT-S801III/851III 系	CT-S801III/851III	シリアル, パラレル, USB, Ethernet, Bluetooth	標準
CT-S2000 系	CT-S2000	シリアル, パラレル, USB, Ethernet	標準
	CT-S2000-M		ブラックマーク紙対応
	CT-S2000-L		ラベル紙対応
CT-S4000 系	CT-S4000	シリアル, パラレル, USB, Ethernet	標準(表面ブラックマーク紙対応)
	CT-S4000-M		裏面ブラックマーク紙対応
	CT-S4000-L		ラベル紙対応
CT-S4500 系	CT-S4500	シリアル, USB, Ethernet, Bluetooth	標準(ブラックマーク/ラベル紙対応)
PMU3300 系	PMU3300	シリアル, USB	標準(用紙出口センサー対応)

USB インターフェース接続について

本製品を USB インターフェース接続にてご使用になる際は、プリンタードライバーのインストールを行う必要があります。尚、プリンターの USB モードの設定により、インストールを行うドライバーの種類が異なります。

1) USB モードがプリンタークラスの場合

Windows ドライバーのインストールを行います。Windows ドライバー上で指定された USB インターフェースポート(Virtual printer port for USB)を、POS for .NET ドライバー側で指定します。

2) USB モードが仮想 COM(Virtual COM)の場合

仮想 COM ドライバーのインストールを行います。仮想 COM ドライバー上で指定されたシリアルインターフェースポートを、POS for .NET ドライバー側で指定します。

パラレルインターフェース接続について

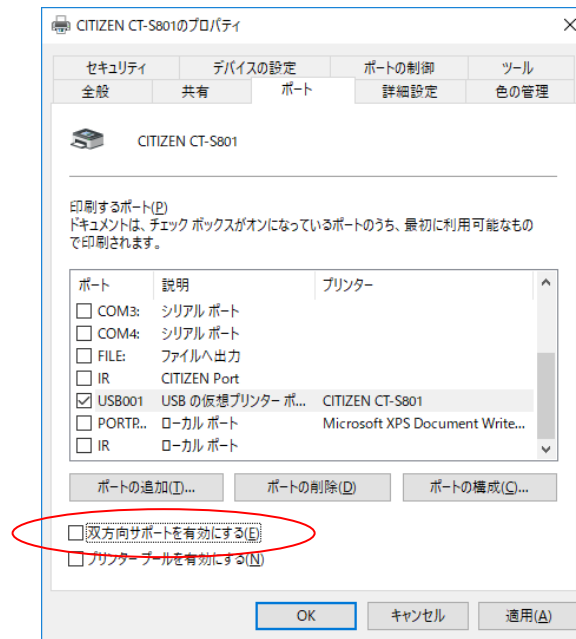
端末とプリンターがパラレルインターフェースで接続されていると、毎回端末を立ち上げた際にプリンタードライバのインストールを要求するインストールウィザードが起動することがあります。このインストールウィザードを起動させないためには、Windows ドライバのインストールを行ってください。

Windows ドライバのインストール

各モデルに対応するWindowsドライバは以下の通りです。Windowsドライバのインストール方法については、Windowsドライバに付属の「Windowsドライバガイド」をご参照ください。

対象モデル	Windows ドライバ名	プリンター機能
CT-E301	CITIZEN CT-E301	標準
CT-E601	CITIZEN CT-E601	標準
CT-S251	CITIZEN CT-S251	標準
CT-S253	CITIZEN CT-S253	標準
CT-S255	CITIZEN CT-S255	標準
CT-S255-L	CITIZEN CT-S255 Label	ブラックマーク／ラベル紙対応
CT-S257	CITIZEN CT-S257	標準
CT-S281/281BT/281BD	CITIZEN CT-S281	標準
CT-S281-XL-M1	CITIZEN CT-281 Label	ブラックマーク紙対応
CT-S281-XL	CITIZEN CT-281 Label	ラベル紙対応
CT-S401	CITIZEN CT-S401	標準
CT-S601/651/801/851	CITIZEN CT-S601/651/801/851	標準
CT-S801/851-M	CITIZEN CT-801/851 Black Mark	ブラックマーク紙対応
CT-S801-L	CITIZEN CT-801 Label	ラベル紙対応
CT-S601II/651II/801II/851II	CITIZEN CT-S601II/651II/801II/851II	標準
CT-S801II/851II-M	CITIZEN CT-801II/851II Black Mark	ブラックマーク紙対応
CT-S801II-L	CITIZEN CT-801II Label	ラベル紙対応
CT-S801III/851III	CITIZEN CT-S801III/851III	標準
CT-S2000	CITIZEN CT-S2000	標準
CT-S2000-M	CITIZEN CT-S2000 Label	ブラックマーク紙対応
CT-S2000-L	CITIZEN CT-S2000 Label	ラベル紙対応
CT-S4000	CITIZEN CT-S4000	標準(表面ブラックマーク紙対応)
CT-S4000-M	CITIZEN CT-S4000 Label	裏面ブラックマーク紙対応
CT-S4000-L	CITIZEN CT-S4000 Label	ラベル紙対応
CT-S4500	CITIZEN CT-S4500	標準(ブラックマーク／ラベル紙対応)
PMU3300	CITIZEN PMU3300	標準(用紙出口センサー対応)

※ 本ドライバは、Windows ドライバのプリンターの状態を確認できるステータス機能(ランゲージモニター)との併用はできません。本ドライバをご使用の際は、ステータス機能なしの Windows ドライバをインストールするか、Windowsドライバのポート設定の「双方向サポートを有効にする」のチェックを外してください(変更を有効にするためにはコンピュータの再起動が必要です)。



USB 仮想 COM(USB Virtual COM)ドライバーのインストール

各モデルに対応する仮想 COM ドライバーをインストールします。仮想 COM ドライバーのインストール方法については、仮想 COM ドライバーに付属の「仮想 COM ドライバーインストールガイド」をご参照ください。

尚、各モデルの USB 仮想 COM モードの対応状況は下表の通りです。

モデル名	仮想 COM モード対応状況	ポート名 (ポート番号)
CT-E301	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-E601	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-S251	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-S253	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-S255	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-S255-L		
CT-S257	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-S281/281BT/281BD	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-S281-XL-M1		
CT-S281-XL		
CT-S401	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-S601/651/801/851	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-S801/851-M		
CT-S801-L		
CT-S601II/651II/801II/851II	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-S801II/851II-M		
CT-S801II-L		
CT-S801III/851III	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-S2000	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM8)
CT-S2000-M		
CT-S2000-L		
CT-S4000	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM8)
CT-S4000-M		
CT-S4000-L		
CT-S4500	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)

PMU3300	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
---------	----	---

1.3. 対象モデル(周辺機器)

本ドライバーの周辺機器の対象モデルは以下の通りです。

周辺機器は、USB ホスト機能付きの Network または Bluetooth インターフェース、または直接 PC に接続して使用します。各モデルの機能詳細については周辺機器の取扱説明書をご参照ください。

ラインディスプレイ

対象モデル	仕様
DSP01-LT/DSP01-LT2	TFT 型ラインディスプレイ
DSP02-LS/DSP02-LS2	STN 型ラインディスプレイ

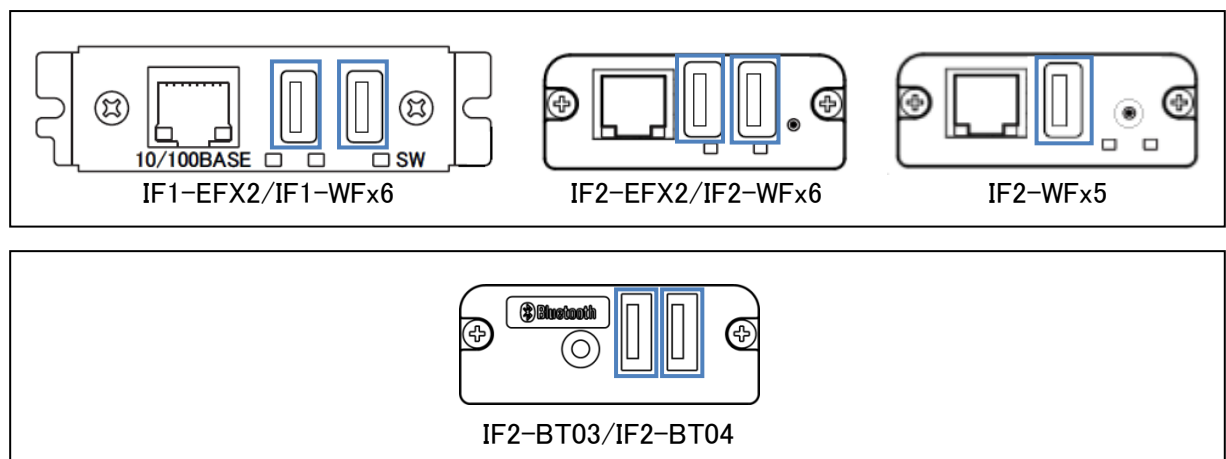
バーコードスキャナー

対象モデル	仕様
SCN01-Z1D	1次元バーコードスキャナー
SCN02-Z2D BC-NL3000U	2次元バーコードスキャナー

※本ドライバーで使用する際は、「[5. バーコードスキャナー設定](#)」に記載の設定が必要です

プリンターへの接続について

対象周辺機器の接続は、プリンター電源を一旦 OFF にしてから、下図に示す Network または Bluetooth インターフェースの USB 端子に接続してください。その後、プリンター電源を ON にしてから、対象周辺機器が利用可能になるまで、安定動作のため、周辺機器の制御開始処理を 30 秒ほど待機してから実行してください。



以下は、周辺機器接続に関する「禁止事項」です。

- 対応周辺機器以外(USB ハブやスマートフォン等)をインターフェースの USB 端子に接続
- プリンター電源が ON のまま、インターフェースの USB 端子から周辺機器のケーブルを挿抜
- 同種の周辺機器をインターフェースの USB 端子に複数接続 (例:ディスプレイを 2 台接続)

もし、上記事項を実施された場合、プリンターや接続周辺機器について、誤動作を招く原因や、最悪、故障の原因となりますので、おやめください。

Network インターフェース設定について

Network インターフェースにラインディスプレイおよびバーコードスキャナーを使用する場合、サービスに関する設定を変更する必要があります。基本的な操作につきましては、プリンターのインターフェースボード取り扱い説明書をご参照ください。

Web ブラウザーから各プリンターに接続して、以下の Service 画面を表示して下さい。プリンターが提供するサービスの設定を行います。

LAN board CITIZEN SYSTEMS

HOME | STATUS | CONFIG Logout

General | **Service** | User Account | Maintenance

Media Converter

VCOM Convert ☒ Enable ☐ Disable ☐ Show configuration

HID Scanner Convert ☐ Enable ☒ Disable ☐ Show configuration

XML Print

Port Number

Timeout for connect 5-60[Seconds]

Timeout for print 10-600[Seconds]

XML Device Control

Port Number

Timeout for connect 5-180[Seconds]

Max connection

XML Device Control / Line Display

Baud rate

Data

Parity

Stop

上記赤枠内を参照に、VCOM Converter の Enable を選択します。

その後、最下部までスクロールし「Submit」ボタンを押します。

最後に「Maintenance」タブの「Save&Reboot」ボタンを押し、「Yes」を選択し、プリンターから音が鳴ると設定完了です。

上記赤枠内の「Show configuration」にチェックを入れると「Media Converter Configuration / VCOM Convert」の設定画面が表示されますが、既に対応ディスプレイに対して適切値になっているので、通常利用では変更しないでください。

各設定値は、電源を切断しても値を保持します。工場初期設定(Factory Default)の処理が行われた時には、各設定値を初期値に設定します。

PC に直接接続して使用する場合

各モデルに対応する仮想 COM ドライバーをインストールしてください。

仮想 COM ドライバー上で指定されたシリアルインターフェースポートを、POS for .NET ドライバー側で指定します。

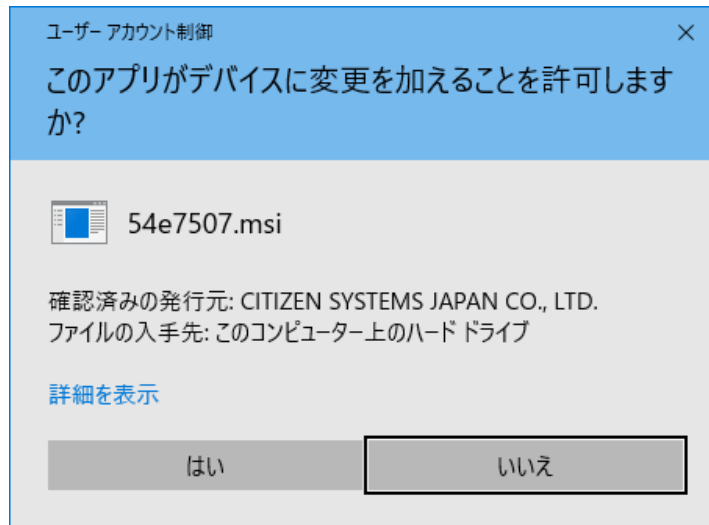
2. インストール

2.1. インストール手順

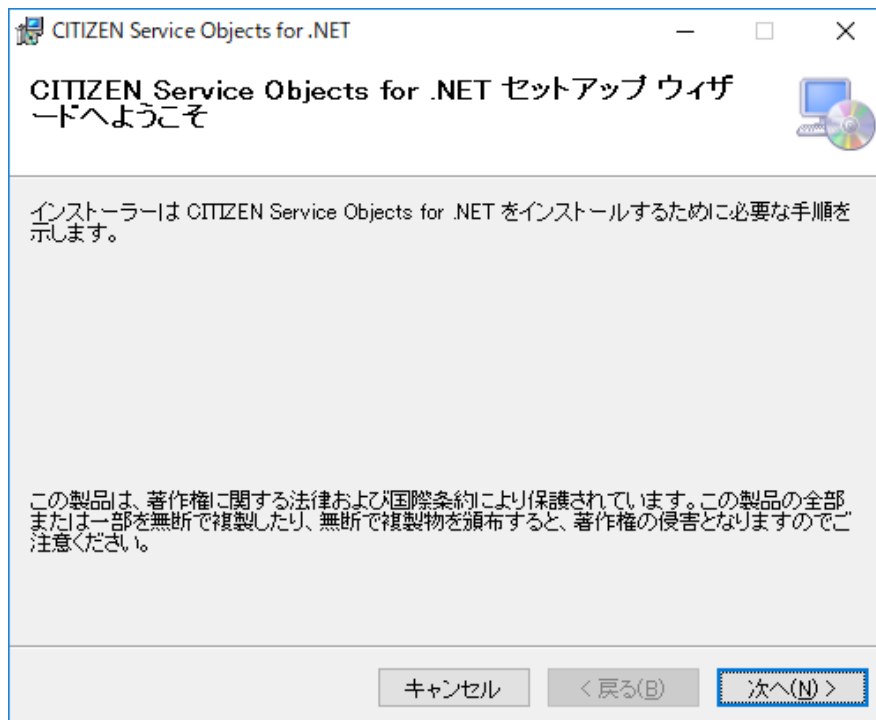
本製品のインストール手順について説明します。

インストールを行う前に必ず起動中のアプリケーションを全て終了させてください。

- 1) CSJ_POSforNET_JA_Vxxxx.exe(インストーラー、xxxx はバージョン)を起動してください。
起動後はダイアログの指示に従いインストール作業を進めます。
次の様な「ユーザーアカウント制御」ダイアログが起動しますので、「はい」を押下してください。

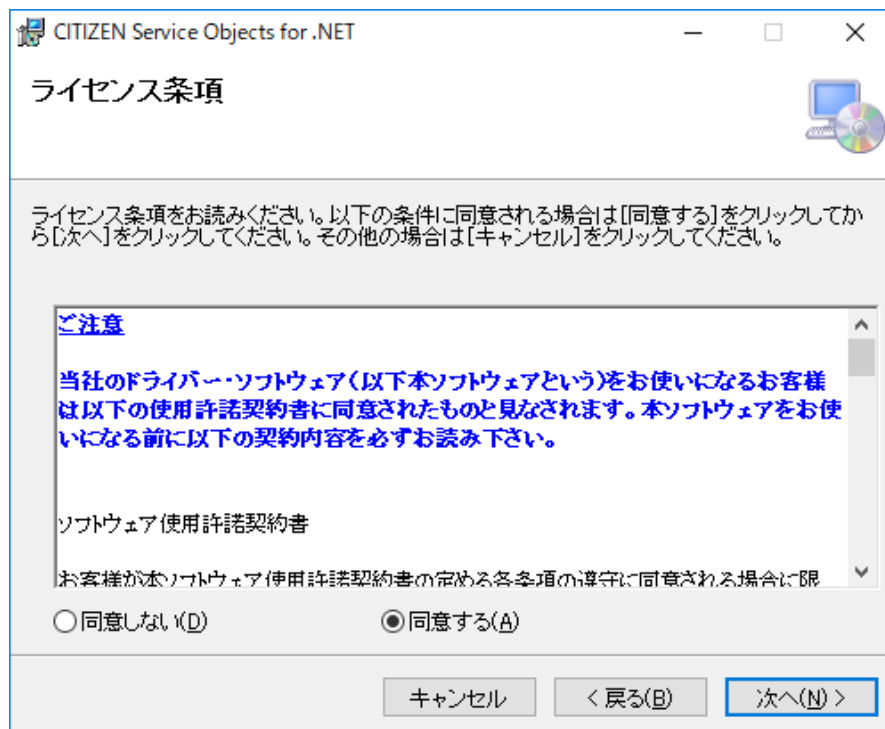


- 2) セットアップ ウィザードが起動します。「次へ」を押下してください。



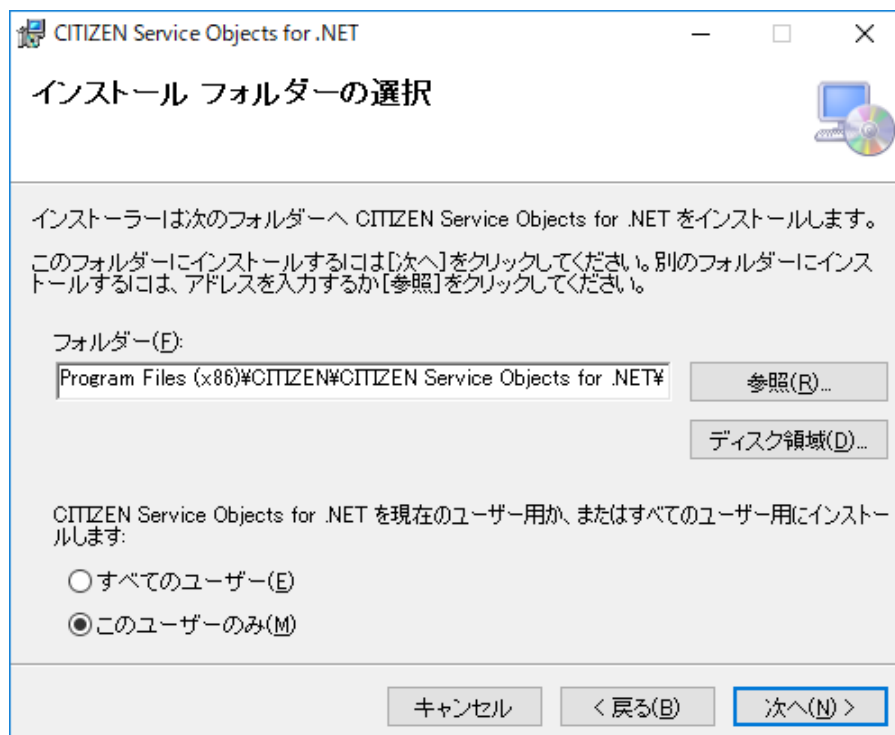
- 3) 「ライセンス条項」のウィンドウが表示されます。

ライセンス条項に同意頂ければ、「同意する」を選択し「次へ」を押下してください。ライセンス条項に同意頂けない場合は、「同意しない」を押下しセットアップウィザードを終了させてください。

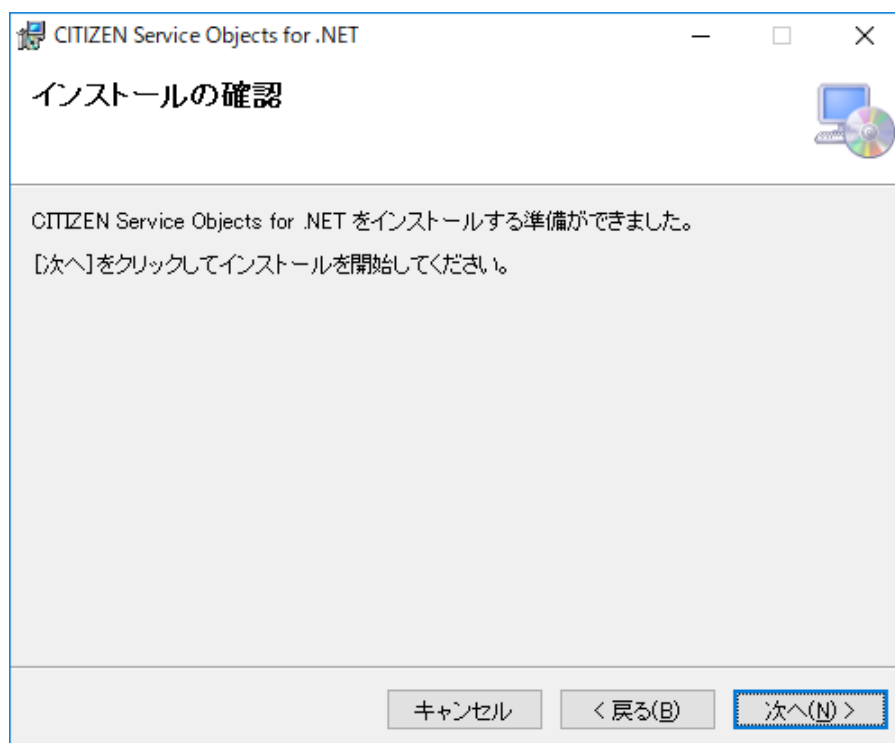


- 4) 「インストール フォルダーの選択」のウィンドウが表示されます。

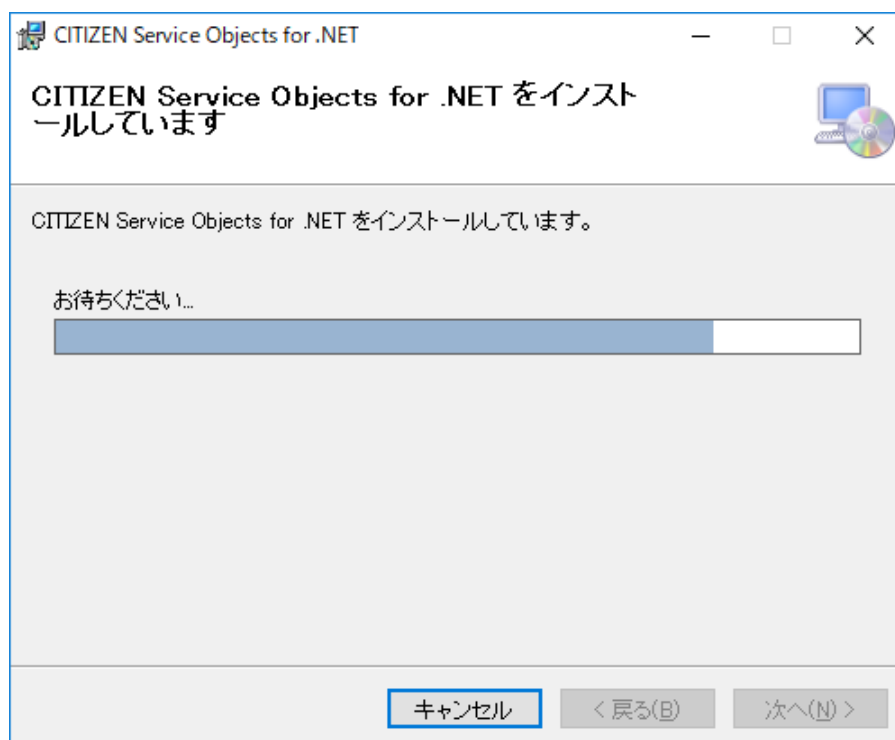
インストールするフォルダーを指定します。デフォルトのインストール先を変更しない場合は、「次へ」を押下してください。デフォルトのインストール先を変更する場合は、インストール先のフォルダーを指定してください。



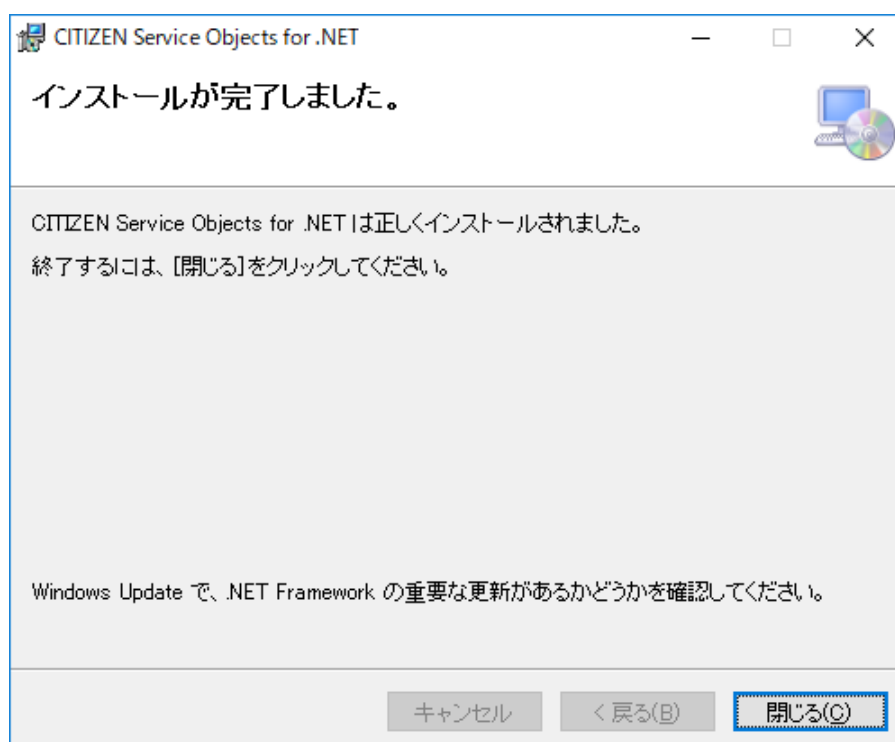
- 5) インストールの確認のウィンドウが表示されます。「次へ」を押下してください。



- 6) インストールの進捗状況のウィンドウが表示されます。
(端末の環境やスペックによりインストールに掛かる時間が長くなることがあります)



- 7) インストールに成功すると「インストールが完了しました。」のウィンドウが表示されます。
「閉じる」を押下してください。



2.2. インストール構成

本製品のインストールファイルについて説明します。

” インストールフォルダ” ¥CITIZEN¥CITIZEN Service Objects for .NET

— BcWidth.dll	: サービスオブジェクト用拡張ライブラリ
— BcWidth64.dll	: サービスオブジェクト用拡張ライブラリ
— ConfigurationUtility.exe	: ドライバー設定ツール
— ConfigurationUtility.exe.manifest	: ドライバー設定ツール用マニフェストファイル
— CSJCheckHealth2.exe	: ドライバー設定ツール用実行ファイル
— CSJCheckHealthLib.dll	: ドライバー設定ツール用拡張ライブラリ
— CSJWPOS.dll	: ラインサーマルプリンタ用サービスオブジェクト
— CSJWPOSCommon.dll	: シチズン独自定数用定義ファイル
— EventLog.dll	: サービスオブジェクト用拡張ライブラリ
— License.rtf	: ドライバー使用許諾契約書
— PortService.exe	: ポートサービス
— PortServiceRemote.dll	: ポートサービス用拡張ライブラリ
— ReleaseNotes_JP.txt	: リリース情報ファイル

2.3. アンインストール手順

本製品のアンインストールについて説明します。

Configuration XML ファイルの削除

Configuration Utility にて物理デバイスおよび論理デバイスの削除を行います。

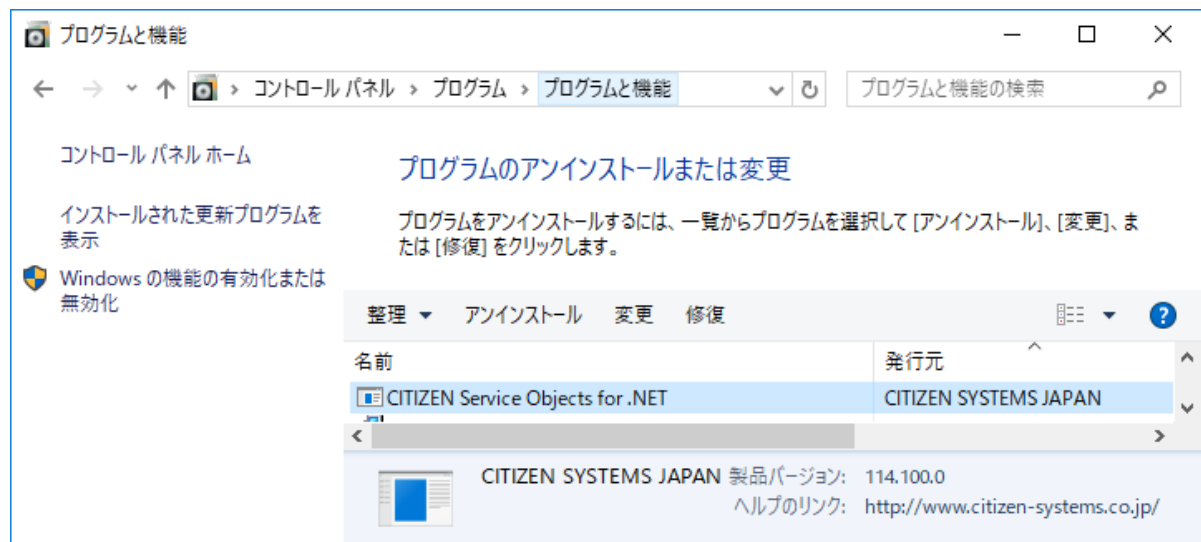
すべて、削除した時点で、Configuration XML ファイルも削除されます。

デバイスの削除方法については、「[3.6 デバイスの削除](#)」の章をご参照ください。

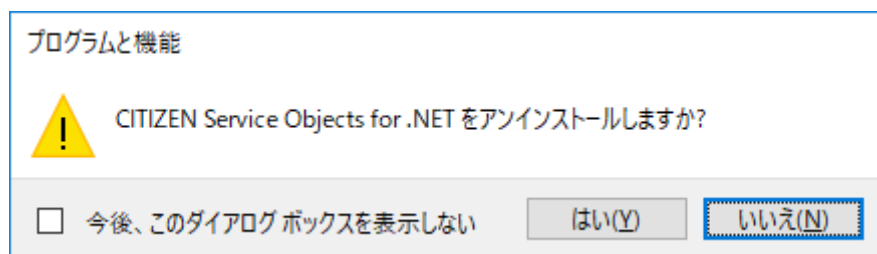
※本製品のバージョンアップの際は、登録済みのデバイス設定を残すことをお勧めします

Service Objects for .NET の削除

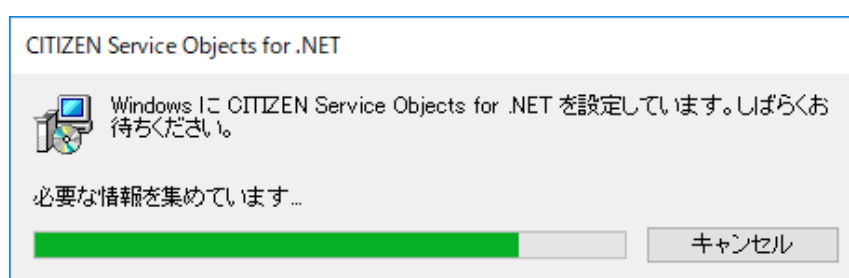
- 1) 「コントロールパネル」-「プログラム」-「プログラムと機能」(OS の種類によっては「アプリケーションの追加と削除」という名称になっています)の一覧より「Citizen Service Objects for .NET」を選択し、「削除」を押下してください。



- 2) 「プログラムの追加と削除」のメッセージダイアログが表示されます。
「はい(Y)」を押下してください。「いいえ(N)」を押下すると本プログラムの削除は取り消されます。



- 3) アンインストール処理の進捗を示すダイアログが表示されます。



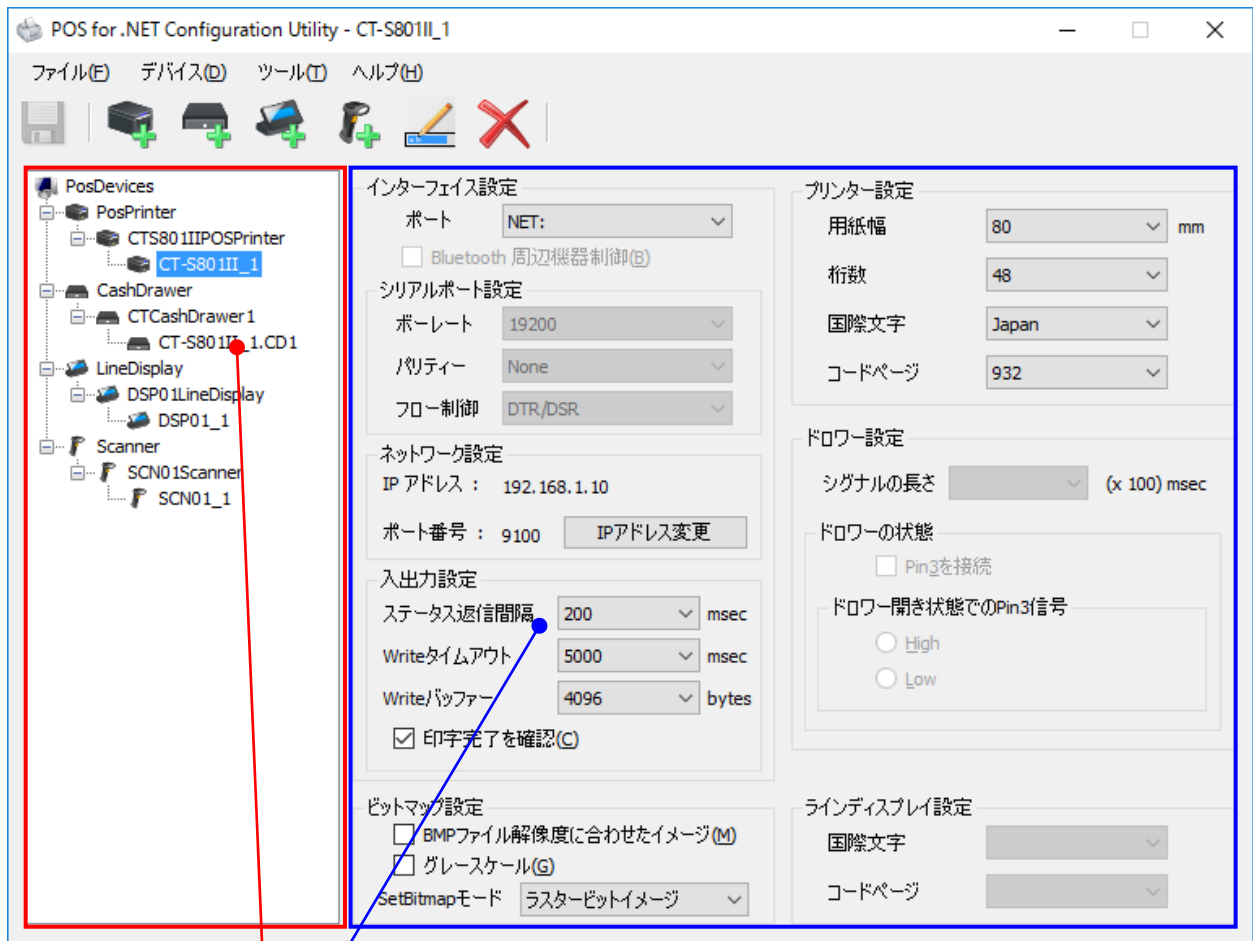
- 4) アンインストールが正常に終了すると、「プログラムと機能」(OS によっては「アプリケーションの追加と削除」)の一覧より「Citizen Service Objects for .NET」が削除されます。

3. POS for .NET ドライバー設定ツール

Configuration Utility の使用方法について説明します。本ドライバーをインストールすると、Windows のスタートメニューにショートカットアイコンが登録されます。

「スタート」→「プログラム」→「CITIZEN」→「POS for .NET」→「POS for .NET Configuration Utility」

メインスクリーン

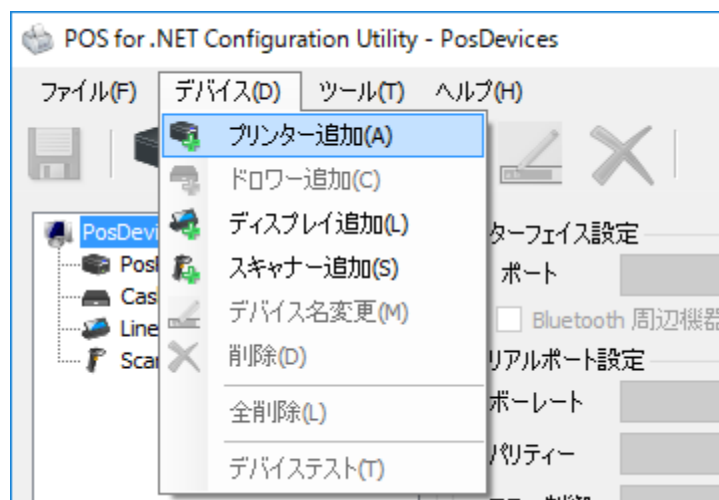


設定ビュー: 各デバイスの設定が表示されます(直接の設定変更が可能)

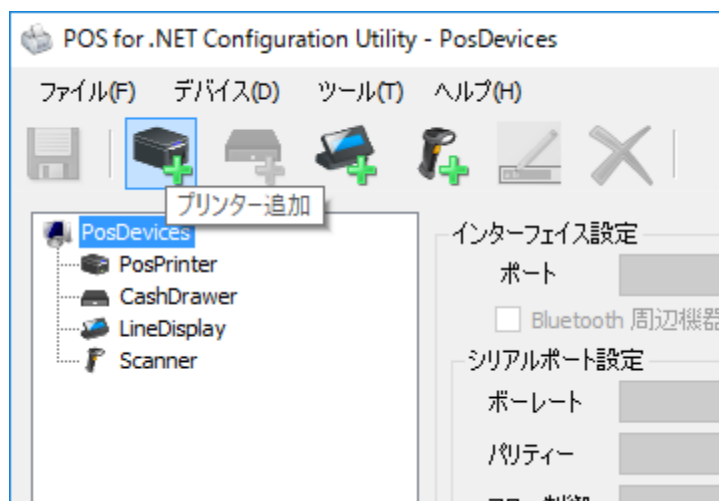
デバイスビュー: サービスオブジェクトおよび論理デバイスがツリー表示されます

3.1. 新規プリンター・キャッシュドロワーの追加

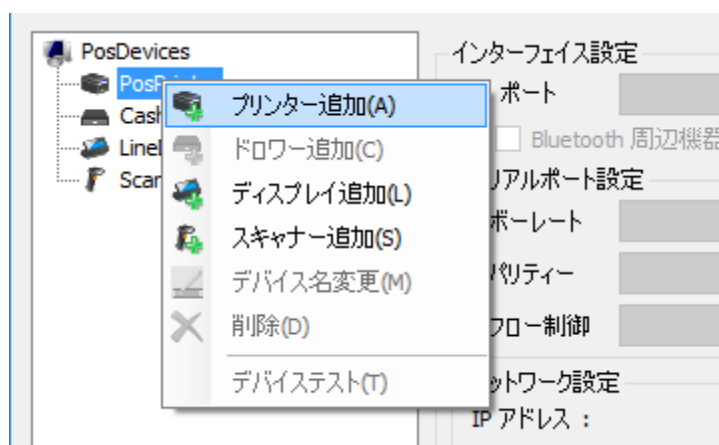
- 1) 「デバイス」メニューより「プリンター追加」を押下してください。



又は、ツールバー上の「プリンター追加」のアイコンを押下してください。



又は、デバイスビュー上のコンテキストメニューから、「プリンター追加」を押下してください。

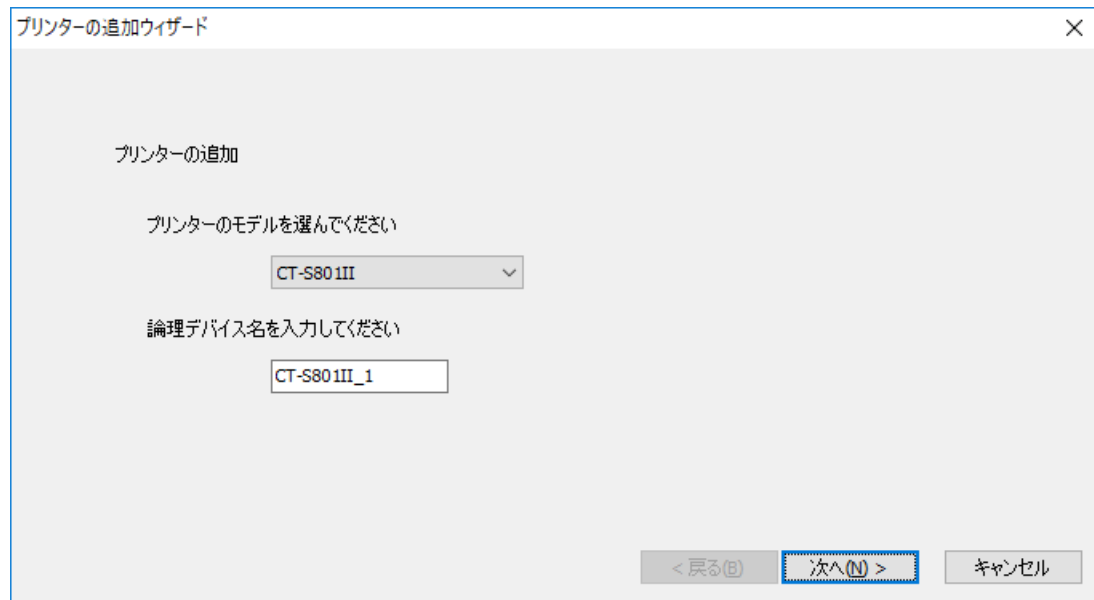


- 2) 「プリンターの追加ウィザード」が起動します。

追加するプリンターのモデル・論理デバイス名を入力し、「次へ」を押下してください。

尚、デフォルトの論理デバイス名は「プリンターの機種名+プリンターの通し番号」です。

(ここでは CT-S801II を指定)



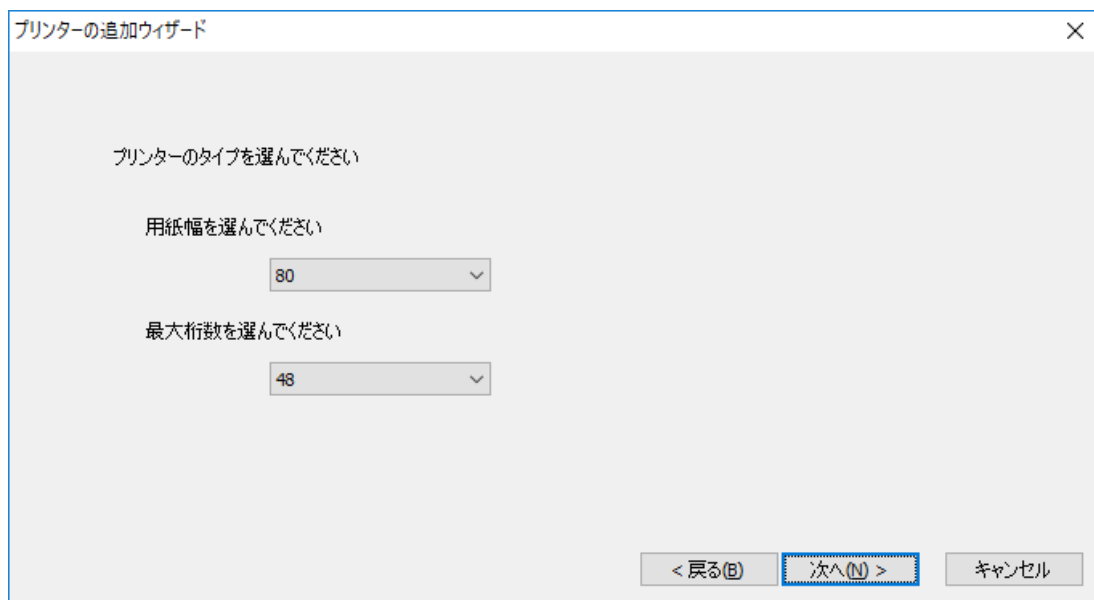
各プリンターの機能については、「[1. 動作環境](#)」の章をご参照ください。

- 3) 「プリンターのタイプを選んでください」のウィンドウが表示されます。

使用する用紙サイズおよび一行あたりの印字最大桁数を、以下の表を参考に指定してください。

本設定は” RecLineWidth / RecLineChars / RecLineCharsList”プロパティのデフォルト値と連動します。

詳細は、本製品のアプリケーション開発ガイドをご参照ください。



CT-E301 系

用紙幅 (mm)	最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
80	58	30	360	30, 40, 45
		32	384	32, 42, 48
		35	420	35, 46, 52
	42	42	512	42, 56, 64
		48	576	48, 64, 72

CT-E601 系

用紙幅 (mm)	最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
80	58	30	360	30, 40, 45
		32	384	32, 42, 48
		35	420	35, 46, 52
	42	42	512	42, 56, 64
		48	576	48, 64, 72

CT-S251 系

用紙幅 (mm)	最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
58	30	360	30	30, 40, 45
	32	384	32	32, 42, 48
	35	420	35	35, 46, 52
	36	432	36	36, 48, 54

CT-S253 系

用紙幅 (mm)	最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
80	58	30	360	30, 40, 45
		32	384	32, 42, 48
		35	420	35, 46, 52
	42	42	512	42, 56, 64
		48	576	48, 64, 72

CT-S255 系

用紙幅 (mm)	最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
80	58	30	360	30, 40, 45
		32	384	32, 42, 48
		35	420	35, 46, 52
	42	42	512	42, 56, 64
		48	576	48, 64, 72

CT-S257 系

用紙幅 (mm)	最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
80	58	30	360	30, 40, 45
		32	384	32, 42, 48
		35	420	35, 46, 52
	42	42	512	42, 56, 64
		48	576	48, 64, 72

CT-S281 系

用紙幅 (mm)	最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
58	32	384	32	32, 42, 48

CT-S401 系

用紙幅(mm)		最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
80	58	30	360	30	30, 40, 45
		32	384	32	32, 42, 48
		35	420	35	35, 46, 52
	42	42	512	42	42, 56, 64
		48	576	48	48, 64, 72

CT-S601/651/801/851 系

用紙幅(mm)				最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
83	80	60	58	30	360	30	30, 40, 45
				32	384	32	32, 42, 48
				35	420	35	35, 46, 52
				36	432	36	36, 48, 54
				42	512	42	42, 56, 64
				48	576	48	48, 64, 72
				53	640	53	53, 71, 80

CT-S601II/651II/801II/851II 系

用紙幅 (mm)				最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
83	80	60	58	30	360	30	30, 40, 45
				32	384	32	32, 42, 48
				35	420	35	35, 46, 52
				36	432	36	36, 48, 54
				42	512	42	42, 56, 64
				48	576	48	48, 64, 72
					53	640	53

CT-S801III/851III 系

用紙幅 (mm)				最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
83	80	60	58	30	360	30	30, 40, 45
				32	384	32	32, 42, 48
				35	420	35	35, 46, 52
				36	432	36	36, 48, 54
				42	512	42	42, 56, 64
				48	576	48	48, 64, 72
					53	640	53

CT-S2000 系

用紙幅 (mm)				最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
83	80	60	58	30	360	30	30, 40, 45
				32	384	32	32, 42, 48
				35	420	35	35, 46, 52
				36	432	36	36, 48, 54
				42	512	42	42, 56, 64
				48	576	48	48, 64, 72
					53	640	53

CT-S4000 系

用紙幅(mm)			最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
112	82.5	80	42	512	42	42, 56, 64
			48	576	48	48, 64, 72
			55	660	55	55, 73, 82
			60	720	60	60, 80, 90
			69	832	69	69, 92, 104

CT-S4500 系

用紙幅(mm)				最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
112	82.5	80	58	30	360	30	30, 40, 45
				32	384	32	32, 42, 48
				35	420	35	35, 46, 52
				36	432	36	36, 48, 54
				42	512	42	42, 56, 64
				48	576	48	48, 64, 72
				55	660	55	55, 73, 82
				60	720	60	60, 80, 90
				69	832	69	69, 92, 104

PMU3300 系

用紙幅(mm)				最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
80	60	58		30	360	30	30, 40, 45
				32	384	32	32, 42, 48
				35	420	35	35, 46, 52
				36	432	36	36, 48, 54
				42	512	42	42, 56, 64
				48	576	48	48, 64, 72

上記設定後、「次へ」を押下してください。

- 4) 「詳細設定」のウィンドウが表示されます。

各項目の設定内容は以下の通りです。

ステータス返信間隔

プリンターのステータス取得のポーリング間隔を設定します。

設定範囲: 100～2000msec

Write タイムアウト

出力ポートに対する書き込みタイムアウト時間を設定します。

設定範囲: 5,000～1,000,000msec

Write バッファ

出力ポートに対する書き込みバッファサイズを設定します。

設定範囲: 0～4,096bytes

印字完了を確認

本設定を有効に設定することにより、メソッドの成功／失敗判定はプリンターからの印字完了応答を確認します。本設定の詳細については、本製品のアプリケーション開発ガイドをご参照ください。

国際文字

国際文字を指定します。(機種により選択内容は変わります)

設定値: U.S.A / France / Germany / U.K. / Denmark I / Sweden / Italy / Spain I / Japan / Norway / Denmark II / Spain II / Latin America / Korea / Croatia / China / Vietnam

コードページ

コードページを指定します。(機種により選択内容は変わります)

設定値: 437 / 850 / 852 / 857 / 858 / 860 / 863 / 864 / 865 / 866 / 874 / 932 / 936 / 998 / 999 / 1252 / 1258 / 65001 / User Defined

SetBitmap モード

SetBitmap メソッドのビットイメージモードを指定します。本モードの詳細については、本製品のアプリケーション開発ガイドをご参照ください。

設定値: ラスタービットイメージ / NV(キーコード未使用) / NV(キーコード使用)

BMP ファイル解像度に合わせたイメージ

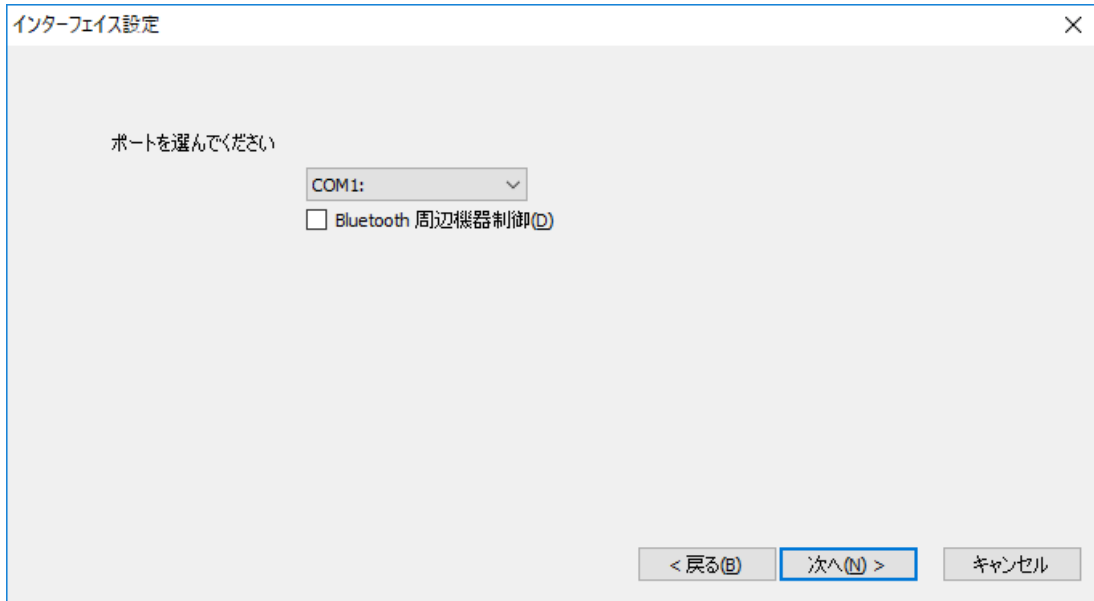
本設定を有効に設定することにより、SetBitmap メソッドおよび PrintBitmap にて指定されたビットイメージを BMP ファイルの解像度に合わせて出力します。

グレースケール

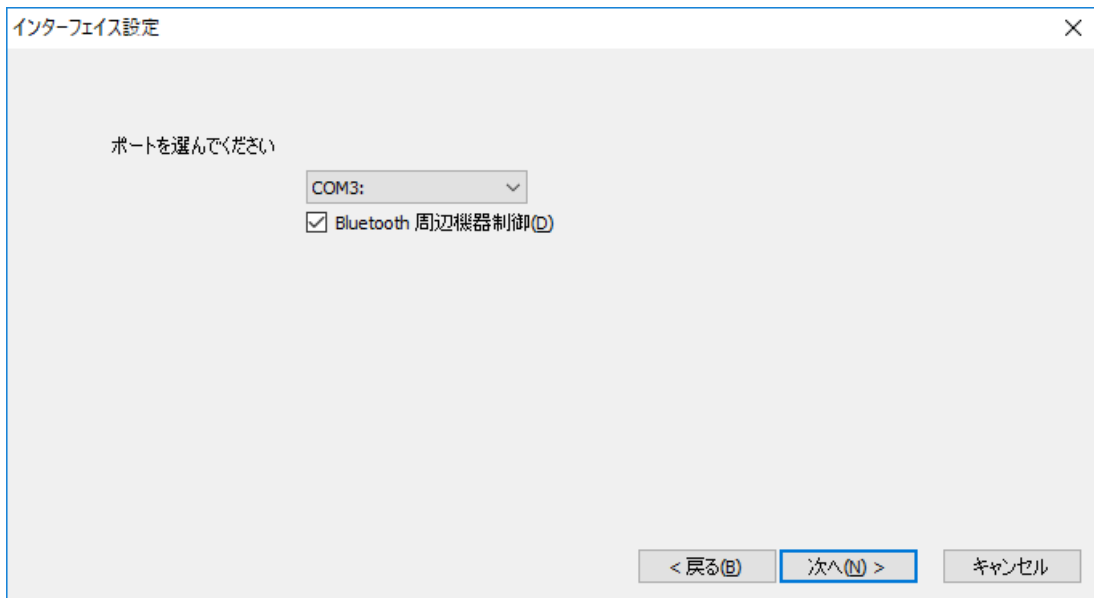
本設定を有効に設定することにより、ビットマップ印刷方式の初期値をグレースケールにします。本設定の詳細については、本製品のアプリケーション開発ガイドをご参照ください。

上記設定後、「次へ」を押下してください。

- 5) 「インターフェース設定」のウィンドウが表示されます。
使用するポートを選択し、「次へ」を押下してください。



IF2-BT03/04 経由で周辺機器も使用する場合は、Bluetooth 周辺機器制御をチェックしてください。
それ以外の場合は、Bluetooth 周辺機器制御のチェックを外して下さい。



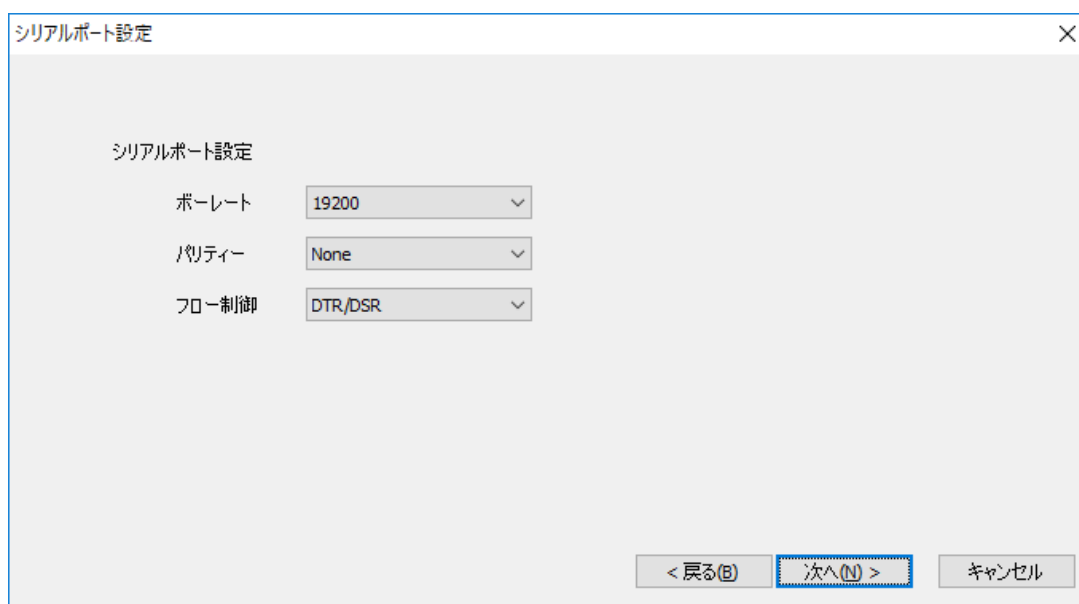
COM ポートを指定時

「シリアルポート設定」のウィンドウが表示されます。

「ボーレート」・「パリティ」・「フロー制御」を指定し、「次へ」を押下してください。

※ プリンター側のデータ長は 8 ビットに設定して下さい。

※ プリンター側と端末側のシリアルポート設定が同等でないと通信することができません。
プリンターのシリアルポート設定についてはプリンターの取扱説明書をご参照ください。



シリアルポート設定

シリアルポート設定

ボーレート 19200 ▼

パリティ None ▼

フロー制御 DTR/DSR ▼

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

NET 指定時

「ネットワーク設定」のウィンドウが表示されます。使用する「IP アドレス」・「ポート番号」を入力します。

※登録完了後、プリンターの設定「ジョブ受信タイムアウト」を設定してください。

接続が中止されるまでの秒数を「120」に設定することを推奨します。

プリンターの設定については、「[3.9 ツールメニュー](#)」の章をご参照ください。



ネットワーク設定

IPアドレス 192 . 168 . 1 . 10

ポート番号 9100

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

上記設定後、「次へ」を押下してください。

6) 続いて「ドロワー追加ウィザード」が起動します。

プリンターに接続されたキャッシュドロワーの数を指定し、「次へ」を押下してください。

「ドロワー1台」または「ドロワー2台」を指定した場合、「1台目のドロワー設定」のウィンドウが表示されます。

論理デバイス名を入力してください

キャッシュドロワーの論理デバイス名を入力します。

デフォルトの論理デバイス名は「プリンターの機種名+プリンターの通し番号+CD1」となります。

(2 台目のドロワーの場合は「プリンターの機種名+プリンターの通し番号+CD2」です。)

シグナルの長さ

キャッシュドロワーのソレノイドに出力するパルス信号の時間幅を指定します。

設定範囲: 1～8 (× 100) msec

Pin3 を接続

ドロワーキックコネクタの3番ピン(ドロワースイッチ入力)が接続されている場合はチェックを入れます。

ドロワー開き状態での Pin3 信号

キャッシュドロワーが開いている状態のドロワースイッチ入力信号レベルを指定します。

設定値: High / Low

上記設定後、「次へ」を押下してください。

※ 「ドロワー2台」指定時に「次へ」を押下すると「2台目のドロワー設定」ウィンドウが表示されます。

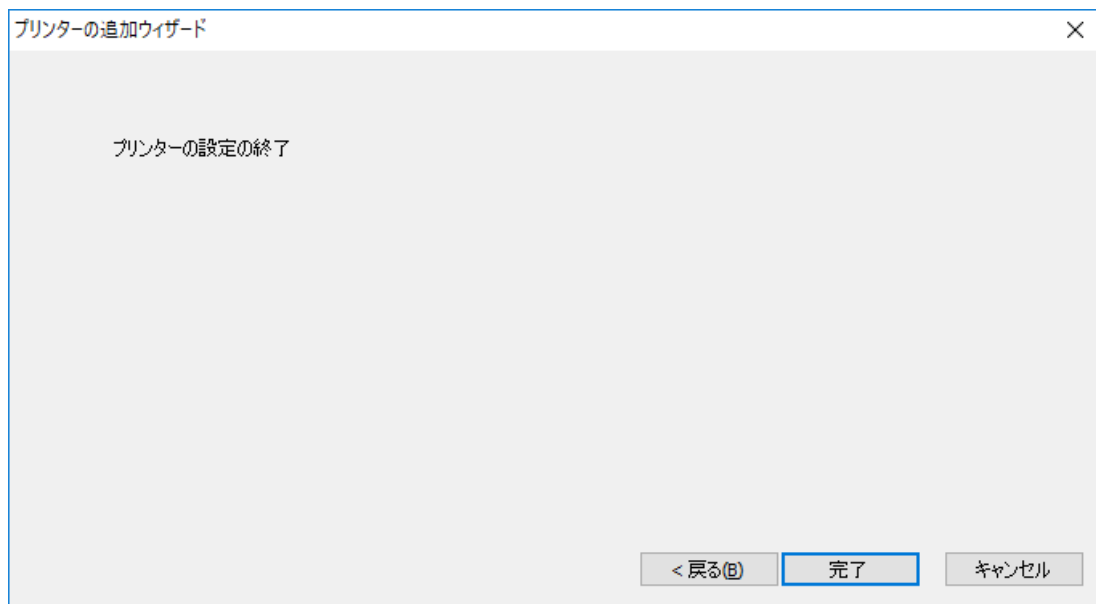
上記設定方法と同様に2台目のキャッシュドロワーの設定を行い、「次へ」を押下してください。

7) 「プリンターの設定の終了」のウィンドウが表示されます。

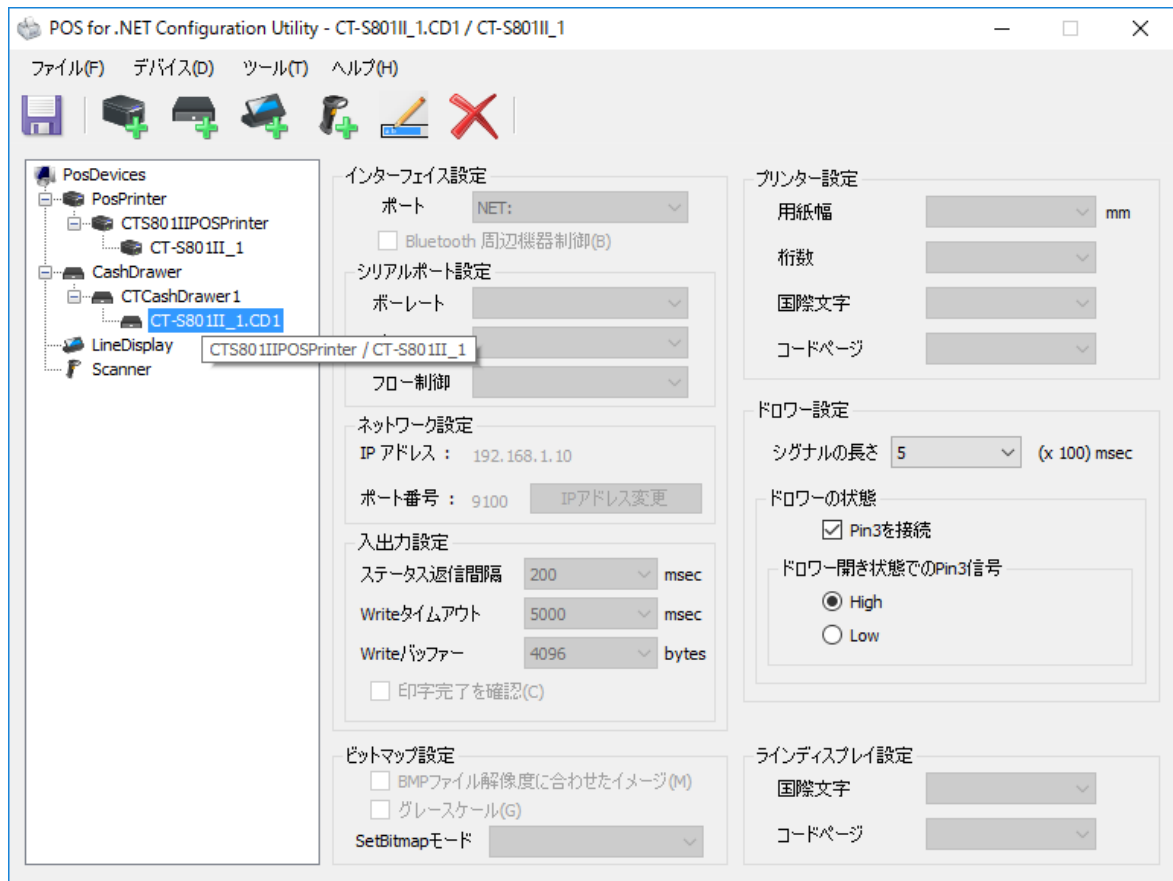
「完了」を押下してください。この時点では、Configuration XML ファイルに登録内容が反映されません。

※ メインウィンドウ画面の「保存」を押下するまで、Configuration XML ファイルに反映されません。

(「保存」方法は、「[3.8 ファイルメニュー](#)」の章の「保存」を参照)



- 8) 本ウィザードが終了すると、「デバイスビュー」および「設定ビュー」に登録されたプリンターおよびキャッシュドロー表示がされます。尚、ドロワー選択時には、タイトルバーの論理デバイス名の後ろに、接続されているプリンターの論理デバイス名が追加され、ツールチップで、「接続されているプリンターのサービスオブジェクト名 / プリンターの論理デバイス名」が表示されます。



※1 デバイスの登録後は、設定ビューより各項目の設定を直接変更することができます。

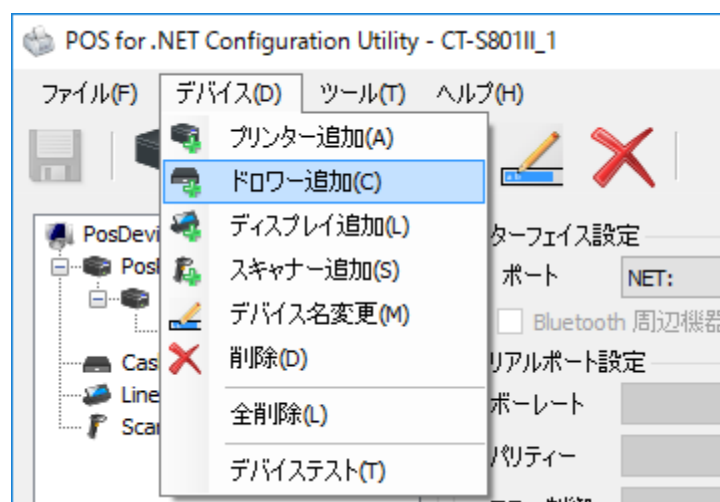
各項目の設定を変更した後、メインウィンドウ画面の「保存」を押下するまで、Configuration XML ファイルに反映されません。(「保存」方法は、[3.8 ファイルメニュー](#)」の章の「保存」を参照)

※2 「ネットワーク設定」の項目内の「IP アドレス」および「ポート番号」を変更の際は、「IP アドレス変更」を押して設定してください。

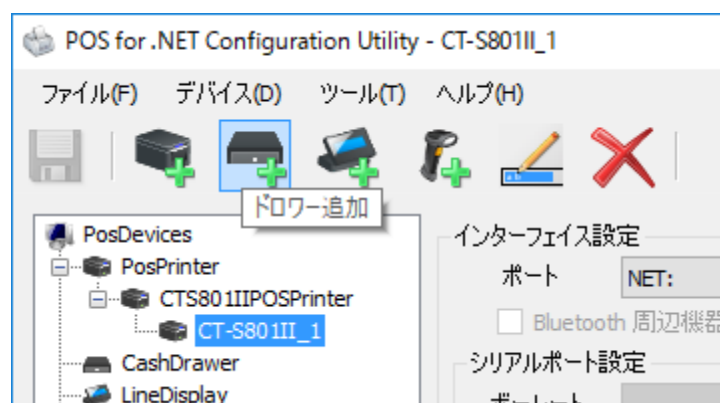
3.2. 新規キャッシュドロワーの追加

1) 「デバイス」メニューより「ドロワー追加」を押下してください。

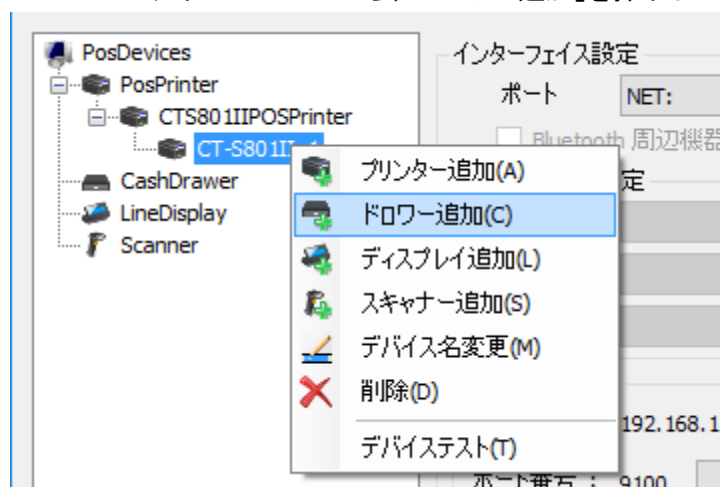
※ 必ずプリンターの登録を終わらせた後にキャッシュドロワーの追加を行ってください。



又は、ツールバー上の「ドロワー追加」のアイコンを押下してください。



又は、デバイスビュー上のコンテキストメニューから、「ドロワー追加」を押下してください。



2) 「ドロワーの追加ウィザード」が起動します。

ドロワー追加ウィザード

ドロワーの追加

対象となるデバイスを選んでください

CT-S801III_1

ドロワーの数を選んでください

☐ ドロワーなし(0)

☒ ドロワー1台

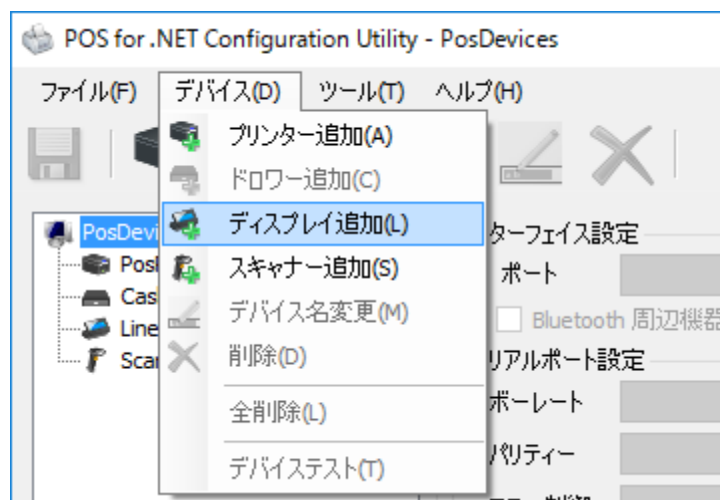
☐ ドロワー2台

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

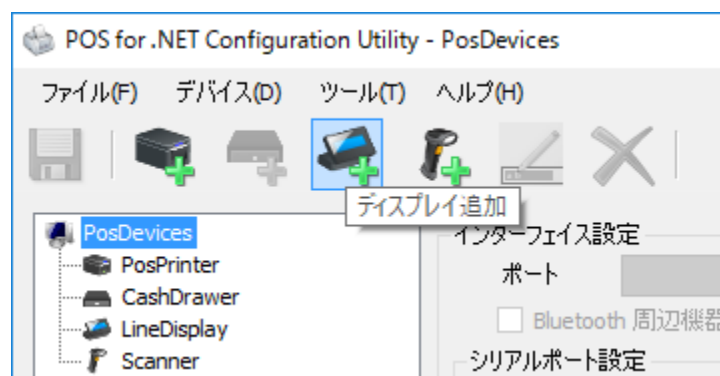
※ ここからは先は、「[3.1 新規プリンター・キャッシュドロワーの追加](#)」の章の「6) 続いて「ドロワー追加ウィザード」が起動します」から先をご参照頂き、同様の手順でドロワーの追加作業を進めてください。

3.3. 新規ラインディスプレイの追加

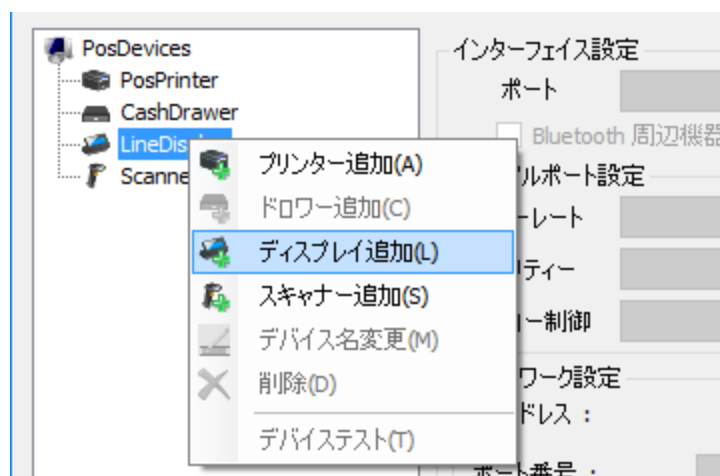
- 1) 「デバイス」メニューより「ディスプレイ追加」を押下してください。



又は、ツールバー上の「ディスプレイ追加」のアイコンを押下してください。



又は、デバイスビュー上のコンテキストメニューから、「ディスプレイ追加」を押下してください。



- 2) 「ラインディスプレイの追加ウィザード」が起動します。

追加するラインディスプレイのモデル・論理デバイス名を入力し、「次へ」を押下してください。

尚、デフォルトの論理デバイス名は「ラインディスプレイのモデル名+ラインディスプレイの通し番号」です。

(ここでは DSP01 を指定)

- 3) 「詳細設定」のウィンドウが表示されます。
各項目の設定内容は以下の通りです。

ステータス返信間隔

ラインディスプレイのステータス取得のポーリング間隔を設定します。

設定範囲: 100～2000msec

Write タイムアウト

出力ポートに対する書き込みタイムアウト時間を設定します。

設定範囲: 5,000～1,000,000msec

国際文字

国際文字を指定します。

設定値: U.S.A / France / Germany / U.K. / Denmark I / Sweden / Italy / Spain I / Japan / Norway
/ Denmark II / Spain II / Latin America / Korea / Slovenia/Croatia / China / Vietnam /

Arabia / Russia

コードページ

コードページを指定します。

設定値: 437 / 720 / 737 / 775 / 850 / 851 / 852 / 853 / 855 / 857 / 858 / 860 / 861 / 862 / 863
 / 864 / 865 / 866 / 869 / 874 / 932 / 936 / 949 / 950 / 1250 / 1251 / 1252 / 1253 /
 1254 / 1255 / 1256 / 1257 / 1258

上記設定後、「次へ」を押下してください。

- 4) 「インターフェイス設定」のウィンドウが表示されます。
 使用するポートを選択し、「次へ」を押下してください。

IF2-BT03/04 経由でラインディスプレイを使用する場合のみ、Bluetooth 周辺機器制御をチェックしてください。それ以外の場合は、Bluetooth 周辺機器制御のチェックを外してください。

COM ポートを指定時

「シリアルポート設定」のウィンドウが表示されます。

「ボーレート」・「パリティ」・「フロー制御」を指定し、「次へ」を押下してください。

※ ラインディスプレイ側と端末側のシリアルポート設定が同等でないと通信することができません。

ラインディスプレイのシリアルポート設定についてはラインディスプレイの取扱説明書をご参照ください。

シリアルポート設定

シリアルポート設定

ボーレート 9600 ▼

パリティ None ▼

フロー制御 DTR/DSR ▼

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

NET 指定時

「ネットワーク設定」のウィンドウが表示されます。使用する「IP アドレス」・「ポート番号」を入力します。

※登録完了後、プリンターの設定「ジョブ受信タイムアウト」を設定してください。

接続が中止されるまでの秒数を「120」に設定することを推奨します。

プリンターの設定については、「[3.9 ツールメニュー](#)」の章をご参照ください。

ネットワーク設定

IPアドレス 192 . 168 . 1 . 10

ポート番号 9200

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

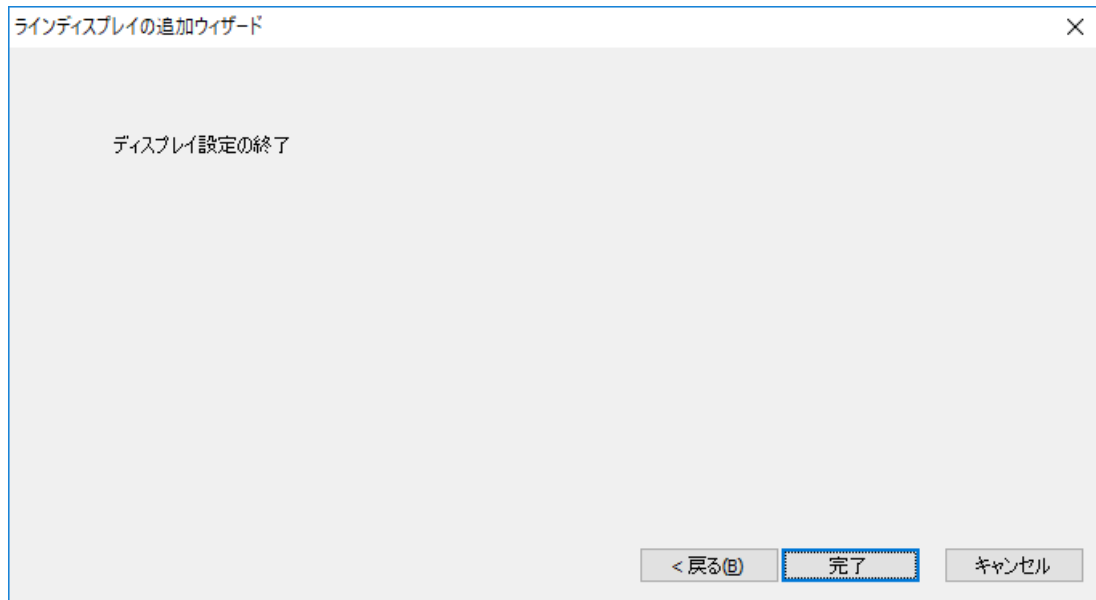
上記設定後、「次へ」を押下してください。

- 5) 「ラインディスプレイ設定の終了」のウィンドウが表示されます。

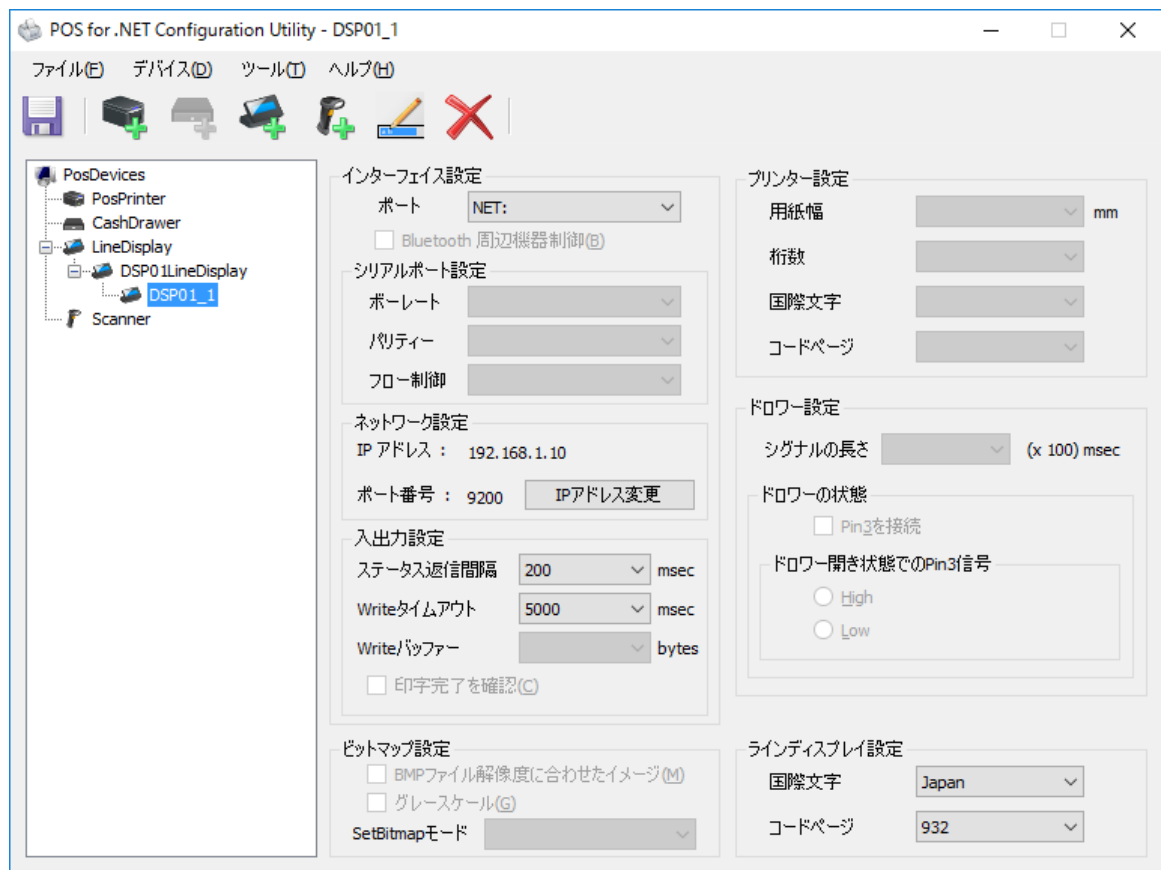
「完了」を押下してください。この時点では、Configuration XML ファイルに登録内容が反映されません。

※ メインウィンドウ画面の「保存」を押下するまで、Configuration XML ファイルに反映されません。

(「保存」方法は、「[3.8 ファイルメニュー](#)」の章の「保存」を参照)



- 6) 本ウィザードが終了すると、「デバイスビュー」および「設定ビュー」に登録されたラインディスプレイが表示されます。



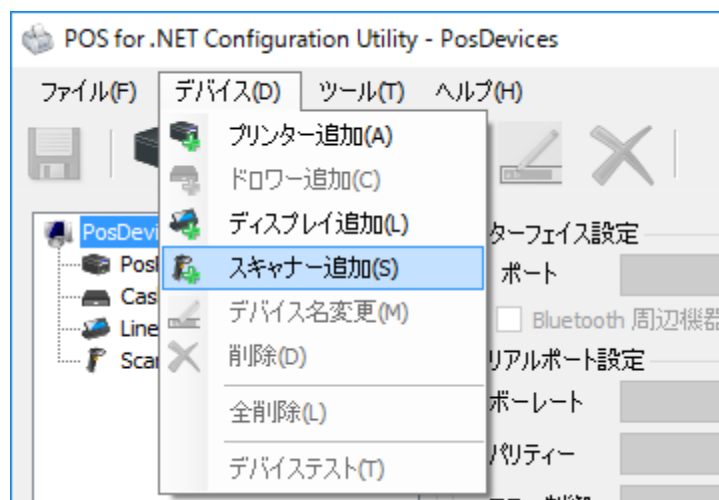
※1 デバイスの登録後は、設定ビューより各項目の設定を直接変更することができます。

各項目の設定を変更した後、メインウィンドウ画面の「保存」を押下するまで、Configuration XML ファイルに反映されません。(「保存」方法は、「[3.8 ファイルメニュー](#)」の章の「保存」を参照)

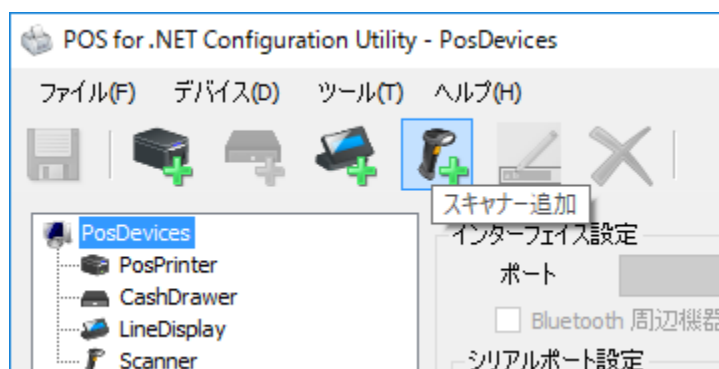
※2 「ネットワーク設定」の項目内の「IP アドレス」および「ポート番号」を変更の際は、「IP アドレス変更」を押して設定してください。

3.4. 新規バーコードスキャナーの追加

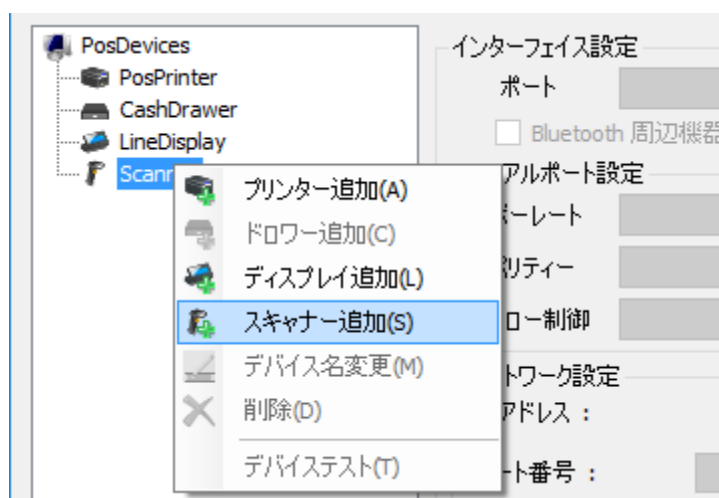
- 1) 「デバイス」メニューより「スキャナー追加」を押下してください。



又は、ツールバー上の「スキャナー追加」のアイコンを押下してください。



又は、デバイスビュー上のコンテキストメニューから、「スキャナー追加」を押下してください。



- 2) 「スキャナーの追加ウィザード」が起動します。

追加するバーコードスキャナーのモデル・論理デバイス名を入力し、「次へ」を押下してください。

尚、デフォルトの論理デバイス名は「バーコードスキャナーのモデル名 + バーコードスキャナーの通し番号」です。

(ここでは SCN01 を指定)

3) 「詳細設定」のウィンドウが表示されます。

各項目の設定内容は以下の通りです。

ステータス返信間隔

バーコードスキャナーのステータス取得のポーリング間隔を設定します。

設定範囲: 100～2000msec

Write タイムアウト

出力ポートに対する書き込みタイムアウト時間を設定します。

設定範囲: 5,000～1,000,000msec

上記設定後、「次へ」を押下してください。

- 4) 「インターフェイス設定」のウィンドウが表示されます。
使用するポートを選択し、「次へ」を押下してください。

The screenshot shows a window titled 'インターフェイス設定' (Interface Setting). Inside, the text 'ポートを選んでください' (Please select a port) is displayed. Below it, a dropdown menu shows 'COM1:' selected. Underneath the dropdown is a checkbox labeled 'Bluetooth 周辺機器制御(D)' (Bluetooth Peripheral Device Control), which is currently unchecked. At the bottom right, there are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel). The '次へ(N) >' button is highlighted with a blue border.

IF2-BT03/04 経由でバーコードスキャナーを使用する場合のみ、Bluetooth 周辺機器制御をチェックしてください。それ以外の場合は、Bluetooth 周辺機器制御のチェックを外してください。

This screenshot shows the same 'インターフェイス設定' (Interface Setting) window. In this instance, the dropdown menu shows 'COM3:' selected. The checkbox for 'Bluetooth 周辺機器制御(D)' is now checked. The '次へ(N) >' button remains highlighted with a blue border.

COM ポートを指定時

「シリアルポート設定」のウィンドウが表示されます。

「ボーレート」・「パリティ」・「フロー制御」を指定し、「次へ」を押下してください。

※ バーコードスキャナー側と端末側のシリアルポート設定が同等でないと通信することができません。
バーコードスキャナーのシリアルポート設定についてはバーコードスキャナーの取扱説明書をご参

照ください。

NET 指定時

「ネットワーク設定」のウィンドウが表示されます。使用する「IP アドレス」・「ポート番号」を入力します。

※登録完了後、プリンターの設定「ジョブ受信タイムアウト」を設定してください。

接続が中止されるまでの秒数を「120」に設定することを推奨します。

プリンターの設定については、「[3.9 ツールメニュー](#)」の章をご参照ください。

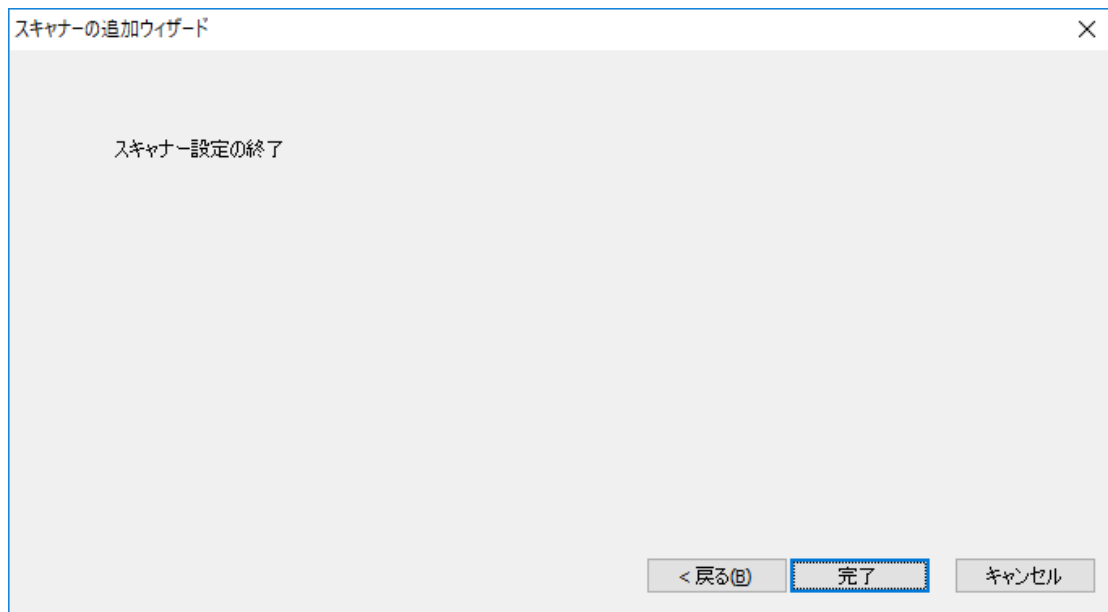
上記設定後、「次へ」を押下してください。

- 5) 「スキャナー設定の終了」のウィンドウが表示されます。

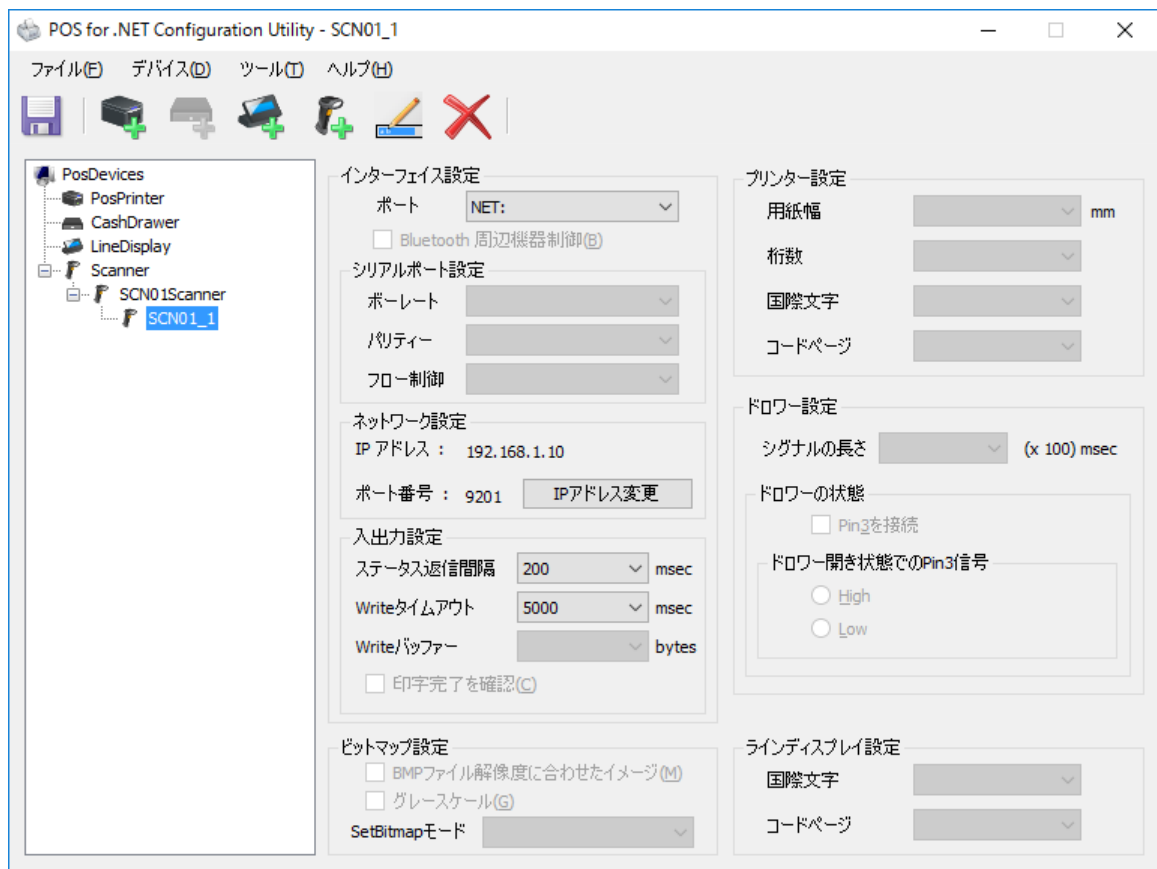
「完了」を押下してください。この時点では、Configuration XML ファイルに登録内容が反映されません。

※ メインウィンドウ画面の「保存」を押下するまで、Configuration XML ファイルに反映されません。

(「保存」方法は、「[3.8 ファイルメニュー](#)」の章の「保存」を参照)



- 6) 本ウィザードが終了すると、「デバイスビュー」および「設定ビュー」に登録されたバーコードスキャナーが表示されます。



※1 デバイスの登録後は、設定ビューより各項目の設定を直接変更することができます。

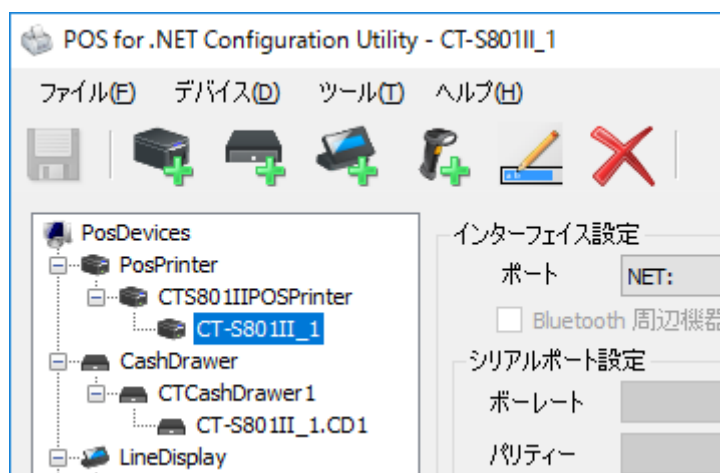
各項目の設定を変更した後、メインウィンドウ画面の「保存」を押下するまで、Configuration XML ファイルに反映されません。(「保存」方法は、「[3.8 ファイルメニュー](#)」の章の「保存」を参照)

※2 「ネットワーク設定」の項目内の「IP アドレス」および「ポート番号」を変更の際は、「IP アドレス変更」を押して設定してください。

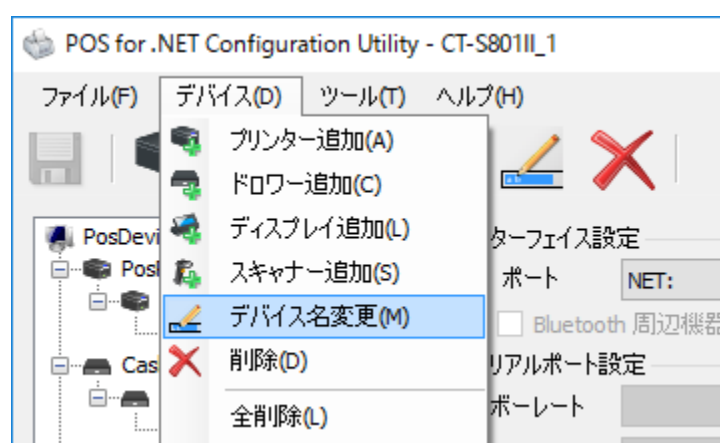
3.5. 論理デバイスの変更

登録済みのデバイスに対し、論理デバイス名の変更を行ないます。

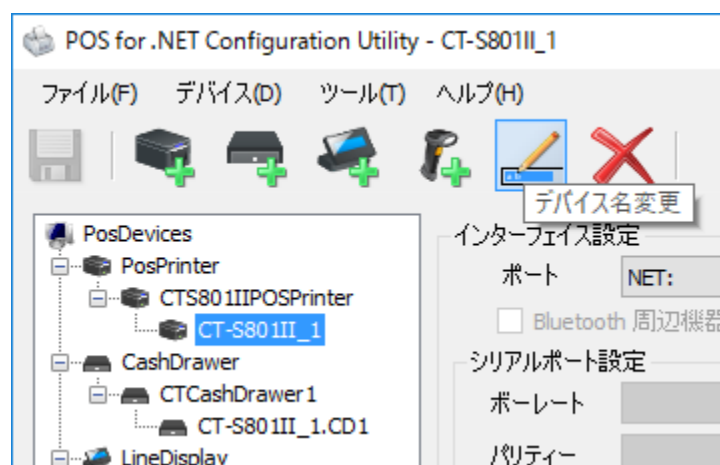
- 1) デバイスビューの「PosDevices」の一覧より論理デバイス名を変更するデバイスを選択します。



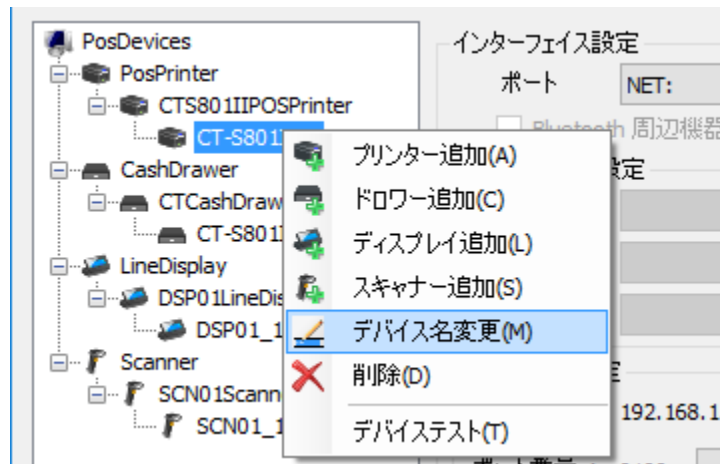
- 2) 「デバイス」メニューより「デバイス名変更」を押下してください。



又は、ツールバー上の「デバイス名変更」のアイコンを押下してください。



又は、デバイスビュー上のコンテキストメニューから、「デバイス名変更」を押下してください。



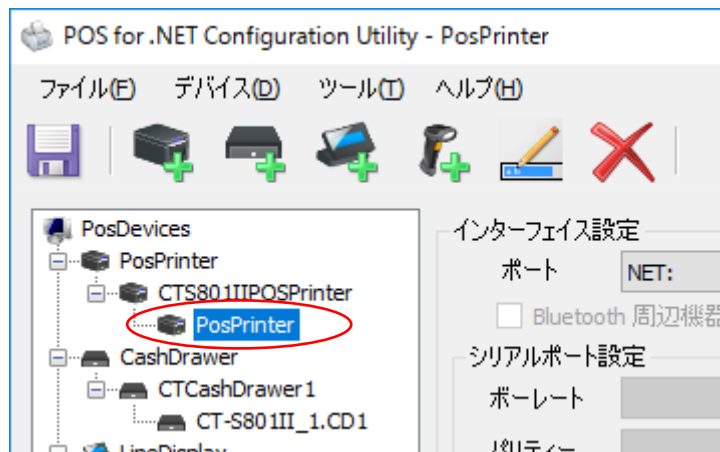
- 3) 「論理デバイス名の変更」のウィンドウが表示されます。

「変更前のデバイス名」に、選択したデバイスの変更前の論理デバイス名が表示されます。「論理デバイス名を入力してください」のテキストボックスに新しい論理デバイス名を入力してください。



上記設定後、「更新」を押下してください。「キャンセル」を押下すると上記設定内容は破棄されます。

- 4) 上記作業終了後、変更された論理デバイス名がデバイスビューに表示されます。(下図赤丸部分)



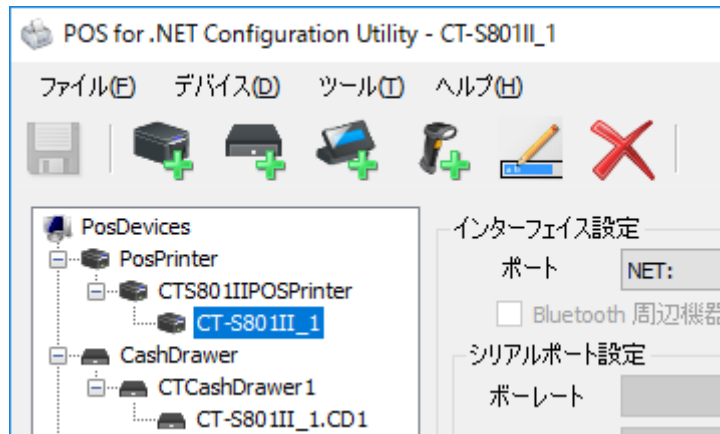
3.6. デバイスの削除

登録済みの物理デバイスの削除を行います。

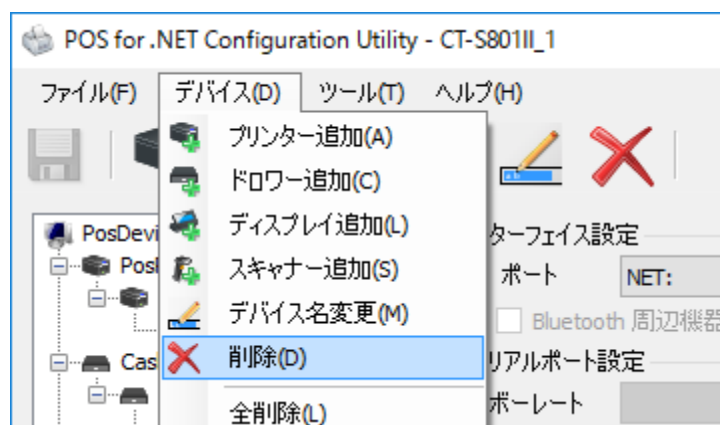
※ 削除、若しくは、全削除を行なっても、メインウィンドウ画面の「保存」押下するまで、Configuration XML ファイルに反映されません。(「保存」方法は、「[3.8 ファイルメニュー](#)」の章の「保存」を参照)

プリンターの削除

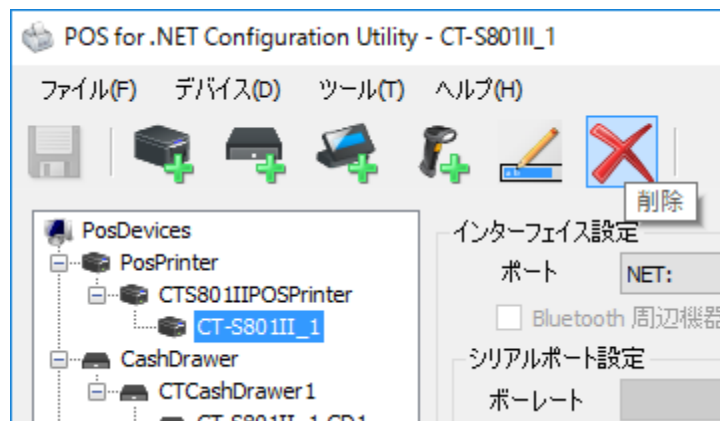
- 1) デバイスビューの「PosPrinter」の一覧より削除するプリンターを選択します。



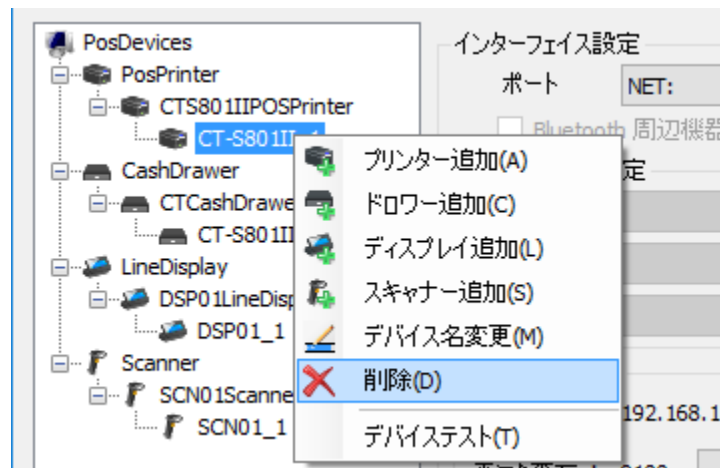
- 2) 「デバイス」メニューより「削除」を押下してください。



又は、ツールバー上の「削除」のアイコンを押下してください。

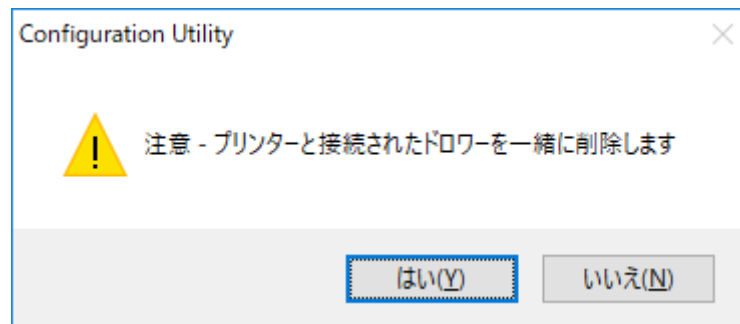


又は、デバイスビュー上のコンテキストメニューから、「削除」を押下してください。



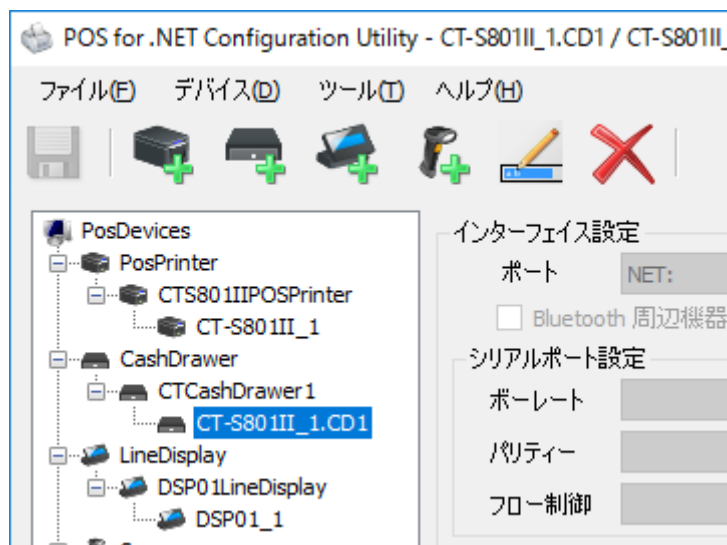
- 3) 「注意-プリンターと接続されたドロワーを一緒に削除します」のメッセージダイアログが表示されます。
「はい(Y)」を押下してください。「いいえ(N)」を押下するとプリンターの削除は破棄されます。

※ プリンターの削除を行うと、登録されたドロワーが削除されます。

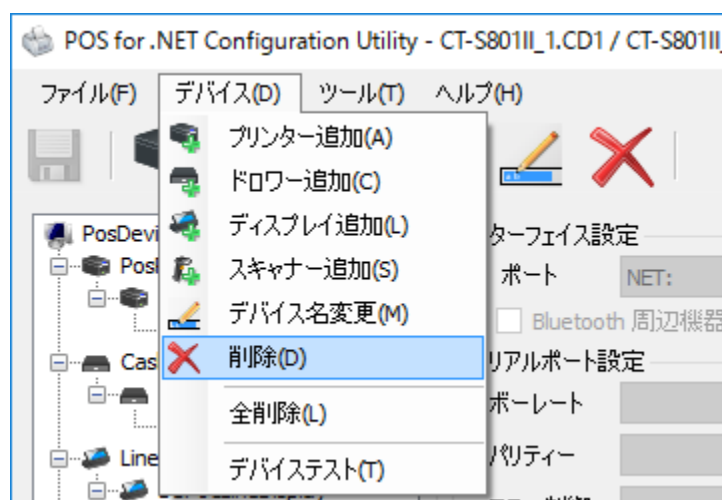


キャッシュドロワーの削除

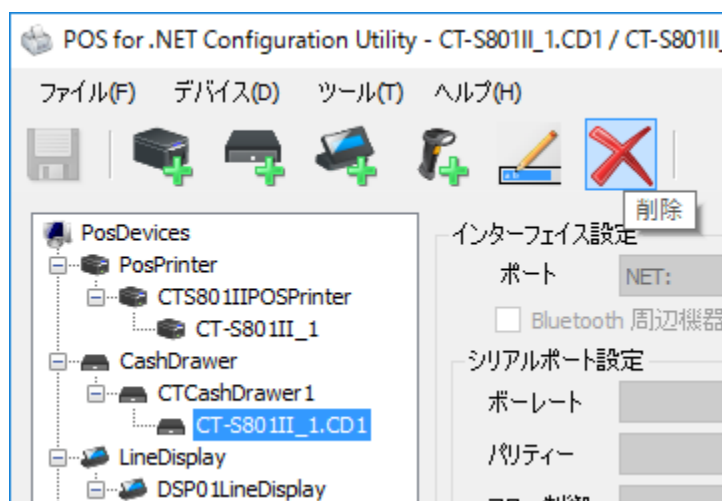
- 1) デバイスビューの「CashDrawer」の一覧より削除するキャッシュドロワーを選択します。



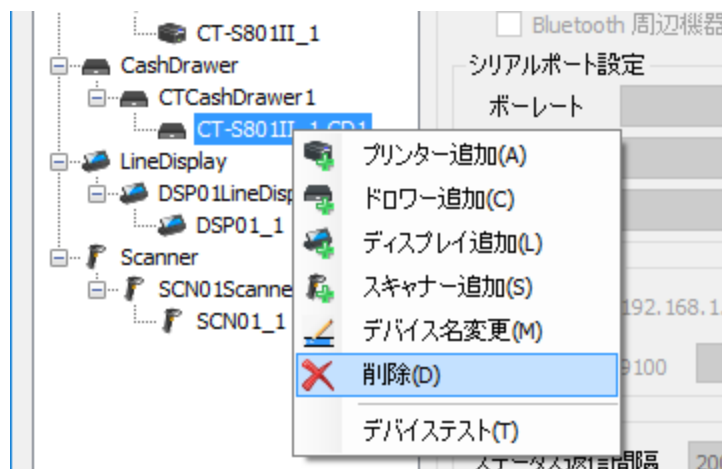
2) 「デバイス」メニューより「削除」を押下してください。



又は、ツールバー上の「削除」のアイコンを押下してください。

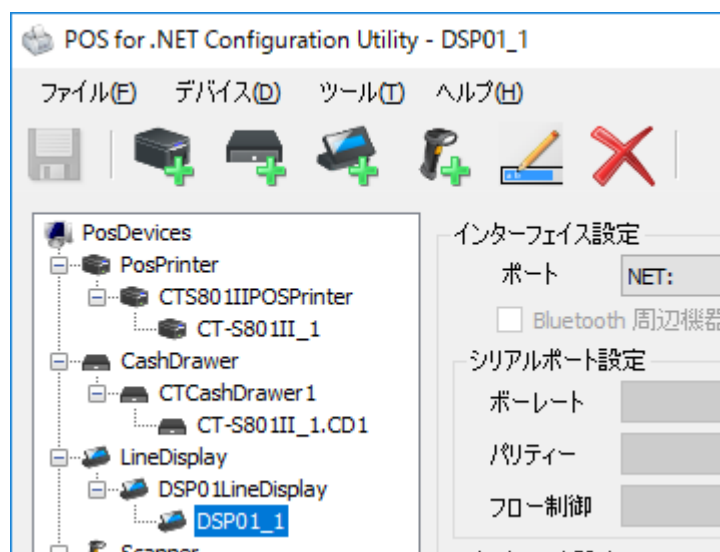


又は、デバイスビュー上のコンテキストメニューから、「削除」を押下してください。

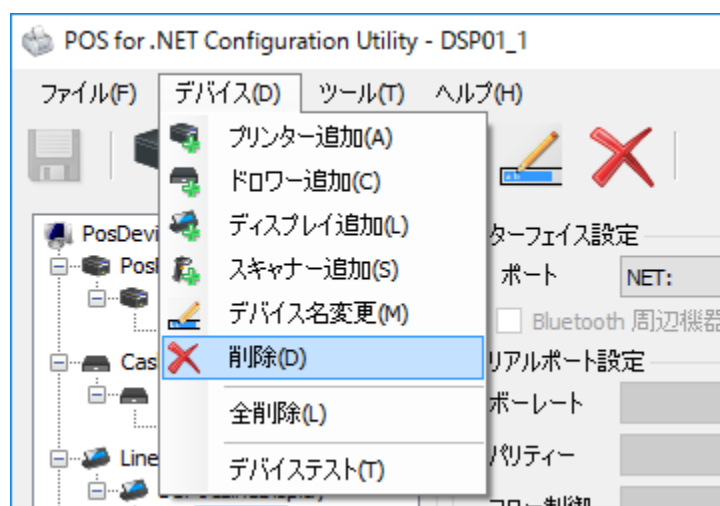


ラインディスプレイの削除

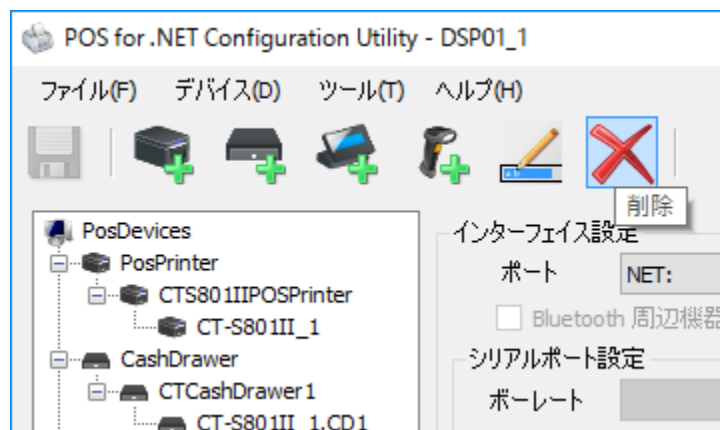
- 1) デバイスビューの「LineDisplay」の一覧より削除するラインディスプレイを選択します。



- 2) 「デバイス」メニューより「削除」を押下してください。



又は、ツールバー上の「削除」のアイコンを押下してください。

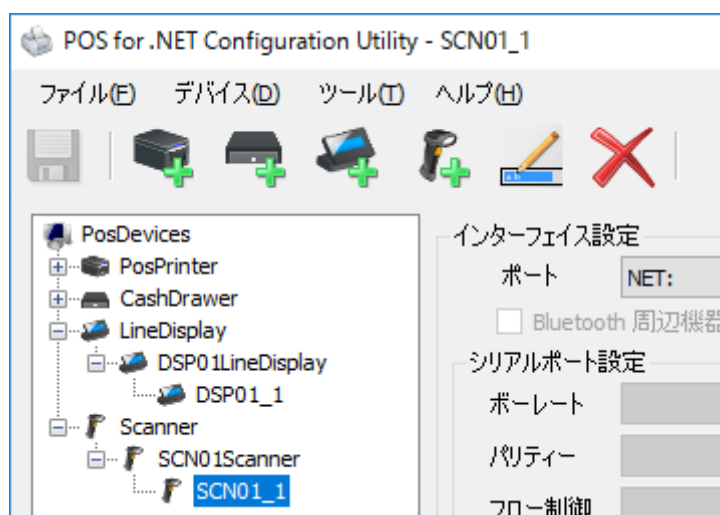


又は、デバイスビュー上のコンテキストメニューから、「削除」を押下してください。

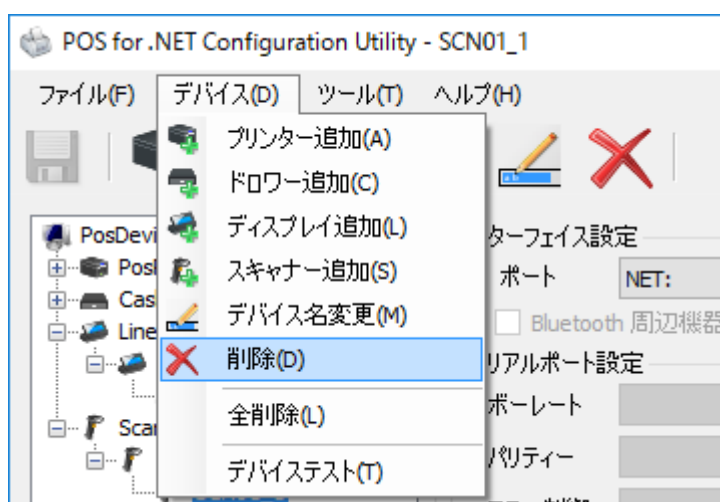


バーコードスキャナーの削除

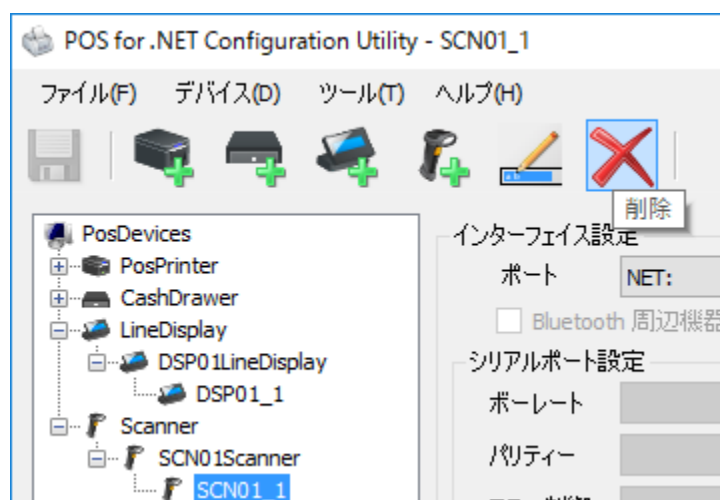
- 1) デバイスビューの「Scanner」の一覧より削除するスキャナーを選択します。



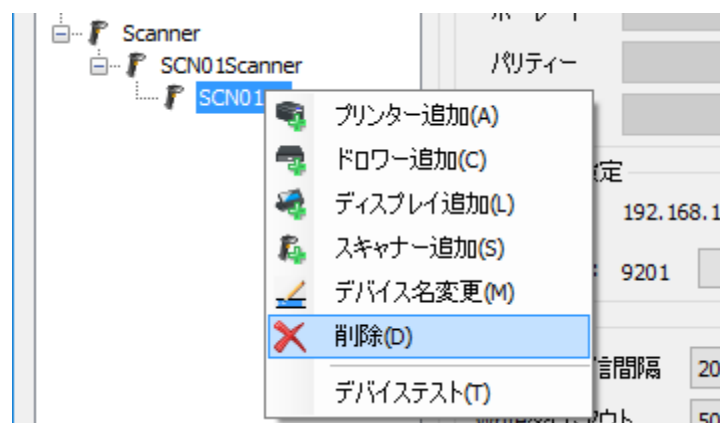
- 2) 「デバイス」メニューより「削除」を押下してください。



又は、ツールバー上の「削除」のアイコンを押下してください。

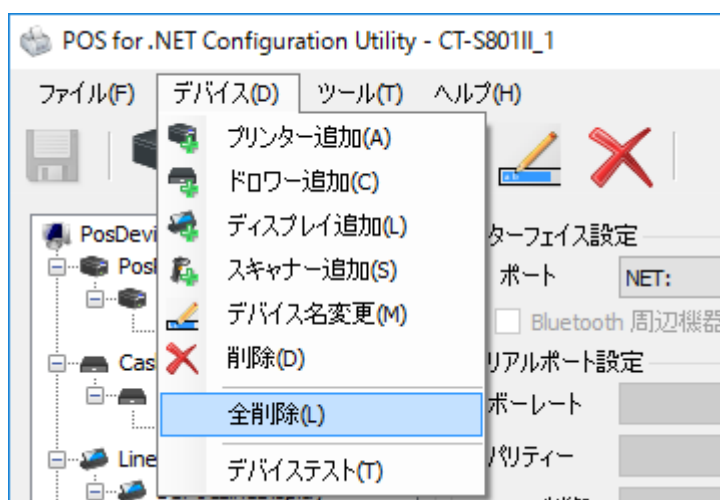


又は、デバイスビュー上のコンテキストメニューから、「削除」を押下してください。

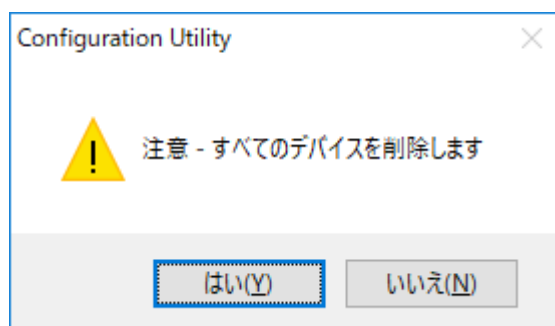


全デバイスの削除(全削除)

- 1) 「デバイス」メニューより「全削除」を押下してください。



- 2) 「注意-すべてのデバイスを削除します」のメッセージダイアログが表示されます。
「はい(Y)」を押下してください。「いいえ(N)」を押下すると全削除は破棄されます。



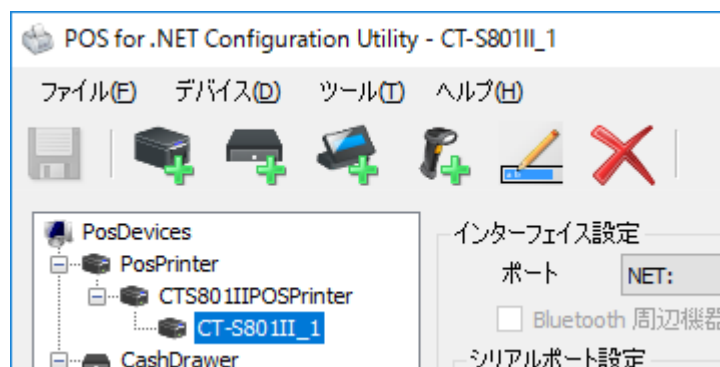
3.7. デバイスのテスト

登録済みの物理デバイスの動作テストを行います。

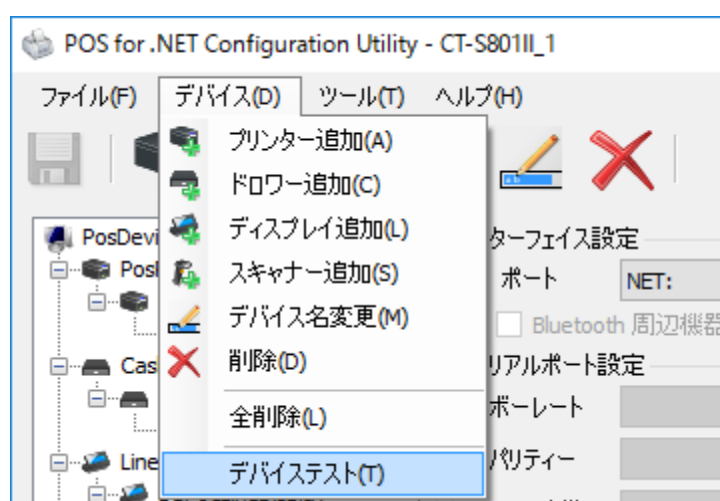
※ テストの前に設定を保存する必要があります。(「保存」方法は、「[3.8 ファイルメニュー](#)」の章の「保存」を参照)

プリンターのテスト

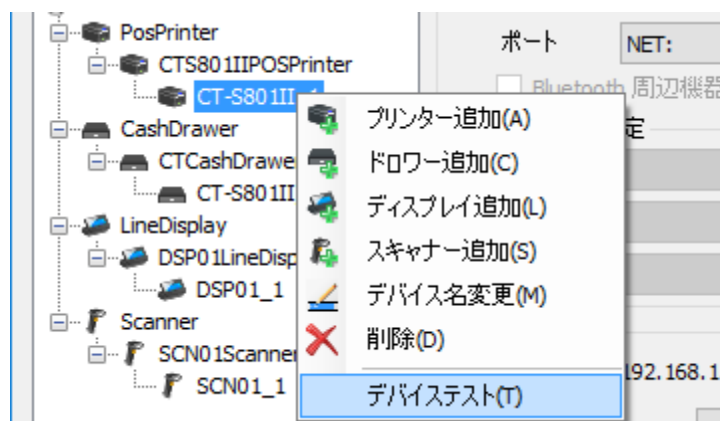
- 1) デバイスビューの「PosPrinter」の一覧よりテストするプリンターを選択します。



- 2) 「デバイス」メニューより「デバイステスト」を押下してください。

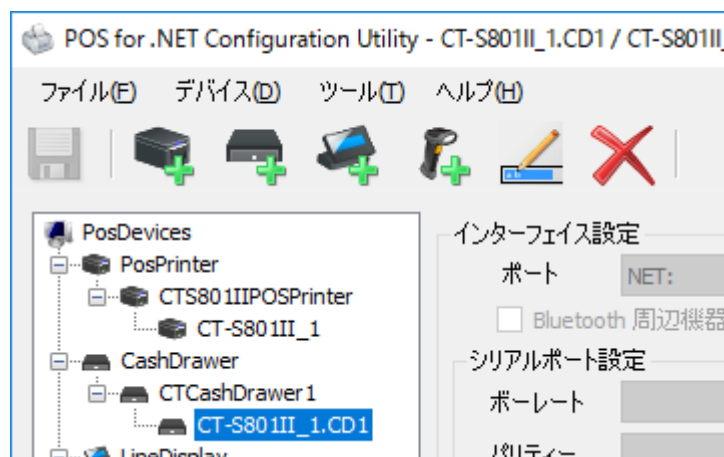


又は、デバイスビュー上のコンテキストメニューから、「デバイステスト」を押下してください。

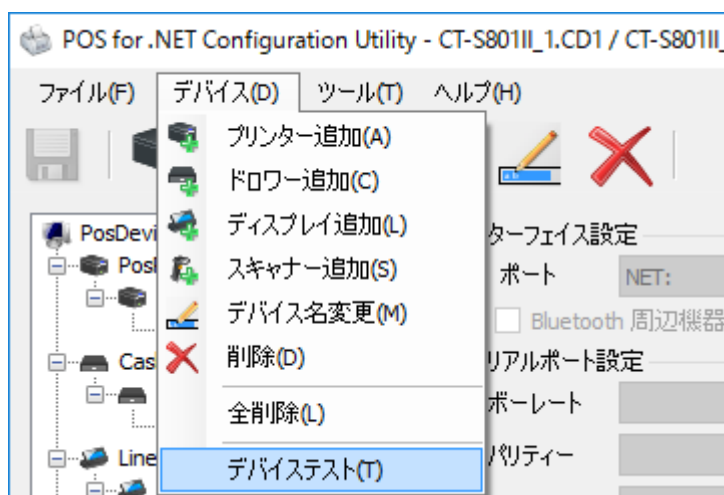


ドロワーのテスト

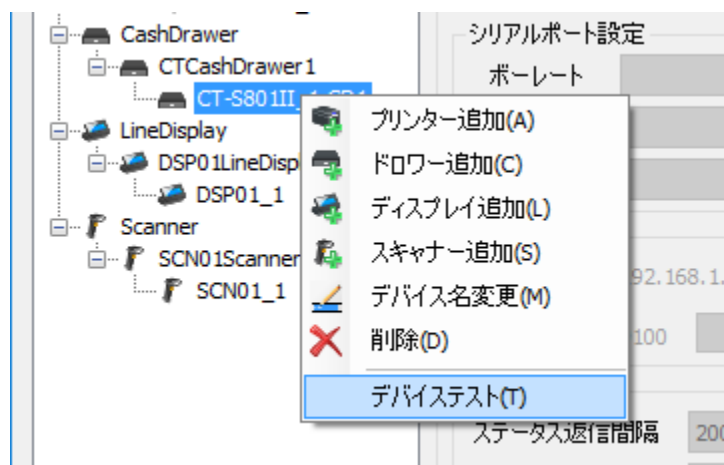
- 1) デバイスビューの「CashDrawer」の一覧よりテストするキャッシュドロワーを選択します。



- 2) 「デバイス」メニューより「デバイステスト」を押下してください。

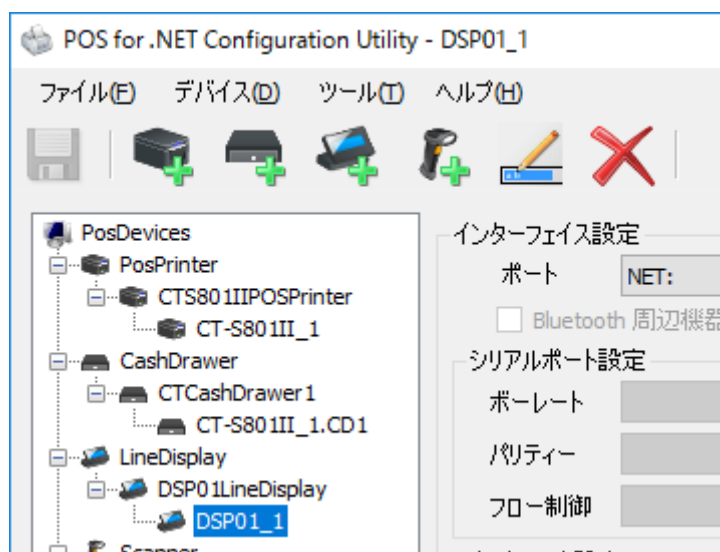


又は、デバイスビュー上のコンテキストメニューから、「デバイステスト」を押下してください。

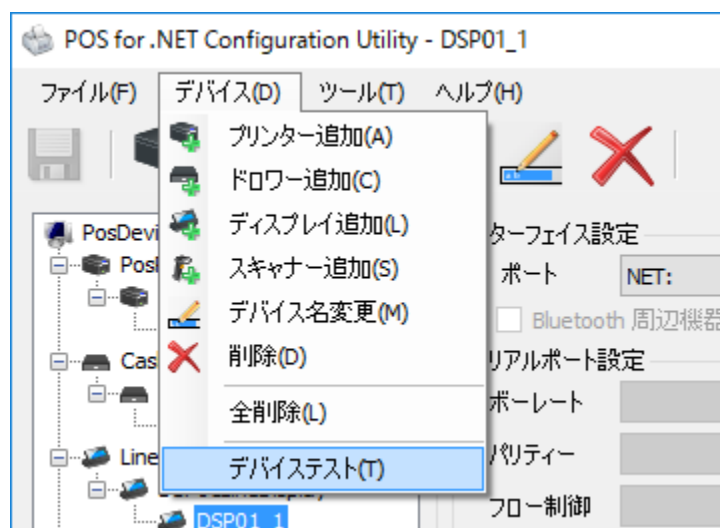


ラインディスプレイのテスト

- 1) デバイスビューの「LineDisplay」の一覧よりテストするラインディスプレイを選択します。



- 2) 「デバイス」メニューより「デバイステスト」を押下してください。

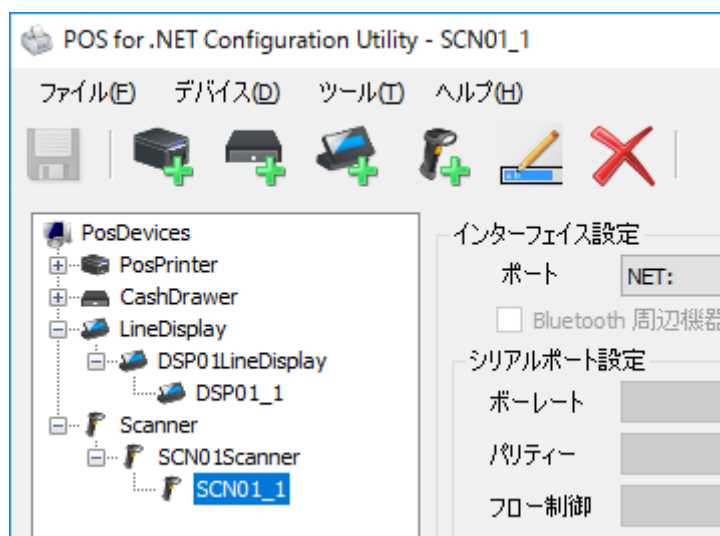


又は、デバイスビュー上のコンテキストメニューから、「デバイステスト」を押下してください。

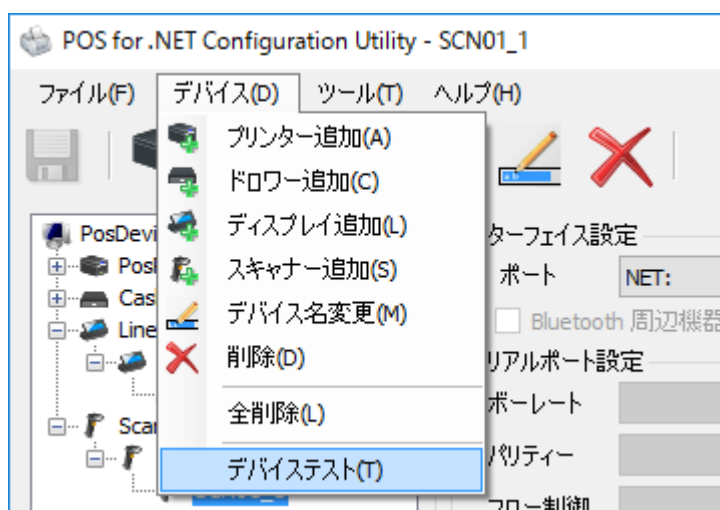


バーコードスキャナーのテスト

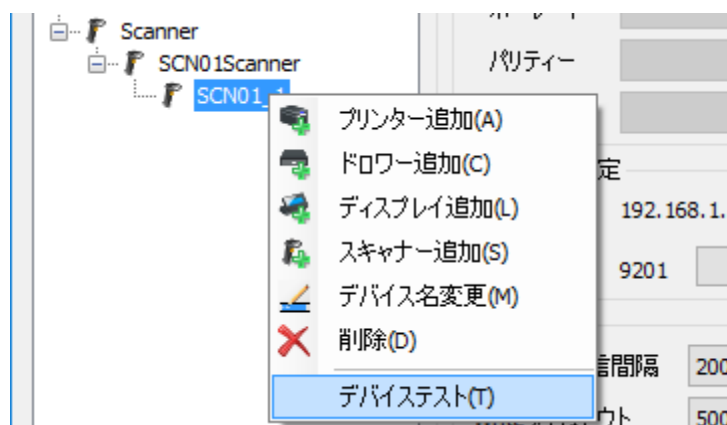
- 1) デバイスビューの「Scanner」の一覧よりテストするバーコードスキャナーを選択します。



- 2) 「デバイス」メニューより「デバイステスト」を押下してください。



又は、デバイスビュー上のコンテキストメニューから、「デバイステスト」を押下してください。



テストの結果

テストが正しく実行できた場合は、次のメッセージが表示されます。

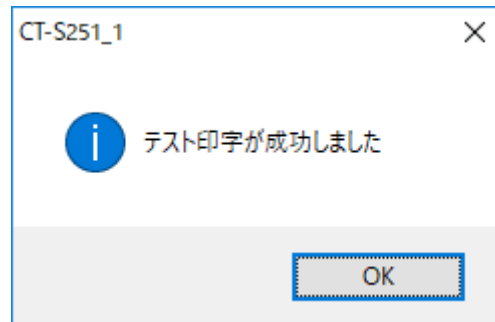
※選択されているデバイスに応じて、以下のテスト動作が行われます。

プリンター：テスト印字の実行

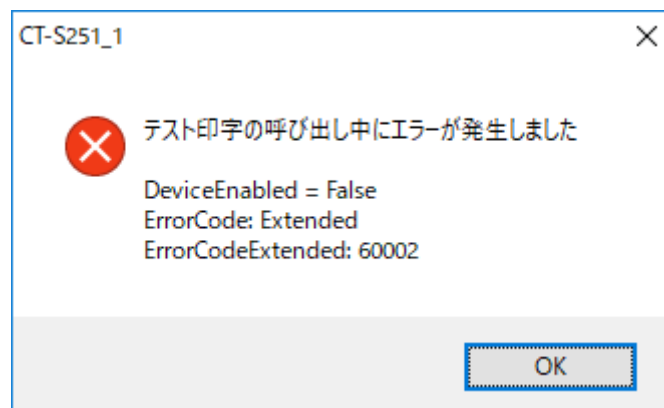
キャッシュドローワー：CheckHealth メソッドの実行

ラインディスプレイ：CheckHealth メソッドの実行

バーコードスキャナー：CheckHealth メソッドの実行



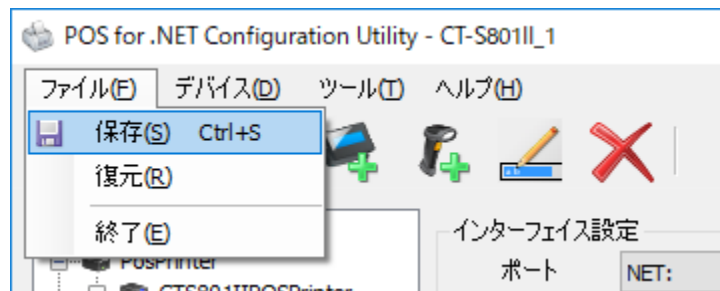
テストの呼び出し中にエラーが発生した場合は、次のメッセージの様なエラー内容が表示されます。



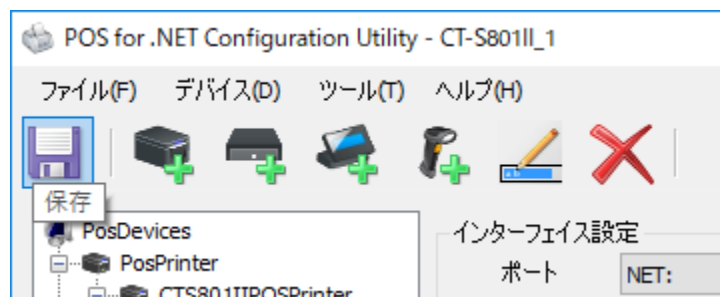
3.8. ファイルメニュー

保存

- 1) 「ファイル」メニューより「保存」を押下してください。



- 又は、ツールバー上の「保存」のアイコンを押下してください。

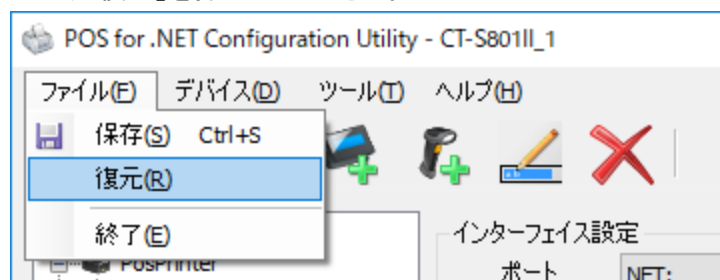


以上の操作により、Configuration XML ファイルに現在の設定が反映されます。

※ この機能は、起動・保存・復元後、何かしらの変更が行われた場合にのみ、選択できます。

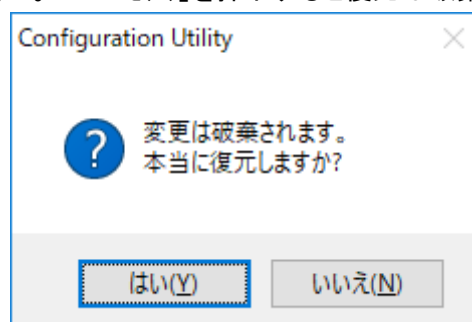
復元

- 1) 「ファイル」メニューより「復元」を押下してください。



- 2) 「変更は破棄されます。本当に復元しますか？」のメッセージダイアログが表示されます。

「はい(Y)」を押下してください。「いいえ(N)」を押下すると復元は破棄されます。

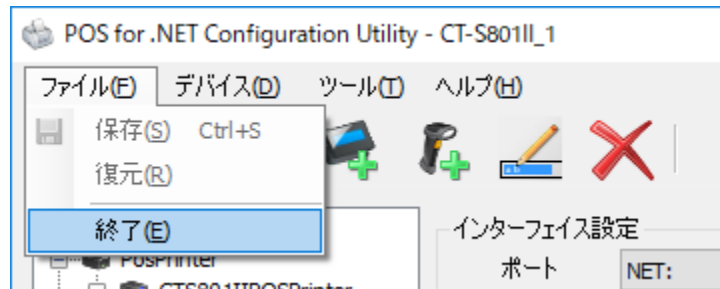


以上の操作により、現在の設定が、最後に保存した時の状態に、変更されます。(起動後、一度も保存していない場合は、起動直後の状態に、変更されます。)

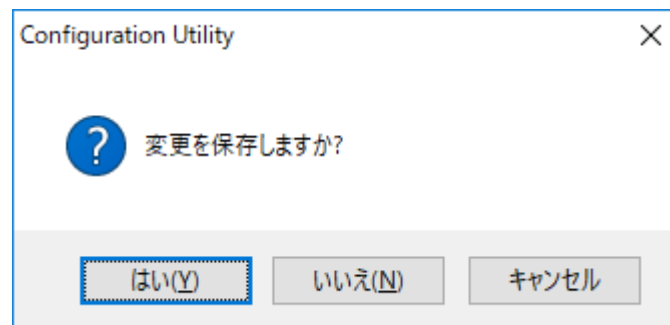
※ この機能は、起動・保存・復元後、何かしらの変更が行われた場合にのみ、選択できます。

終了

- 1) 「ファイル」メニューより「終了」を押下してください。



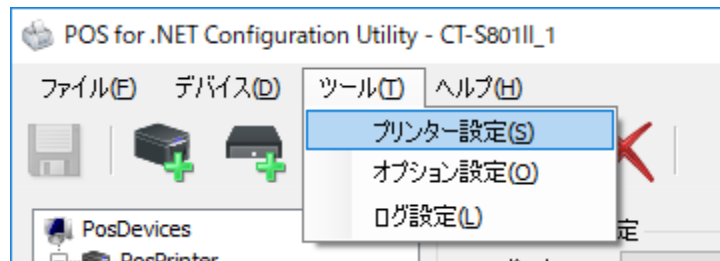
- 2) 終了時、現在の設定を Configuration XML ファイルに保存していない場合には、「変更を保存しますか？」のメッセージダイアログが表示されます(保存されている場合には、そのまま終了します。)
「はい(Y)」を押下すると、Configuration XML ファイルに現在の設定が反映され、コンフィギュレーションユーティリティが終了します。
「いいえ(N)」を押下すると、Configuration XML ファイルに現在の設定が反映されず、コンフィギュレーションユーティリティが終了します。
「キャンセル」を押下すると、終了が破棄され、メインウィンドウ画面に戻ります。



3.9. ツールメニュー

プリンター設定

- 1) 「ツール」メニューより「プリンター設定」を押下してください。

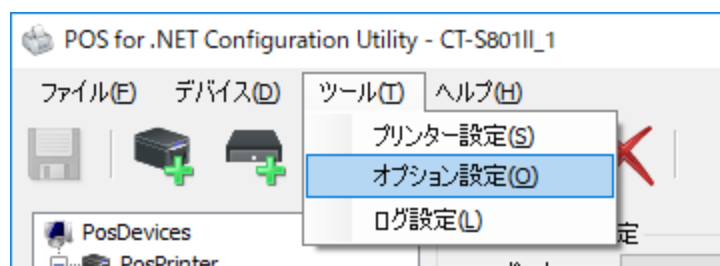


※ 「プリンター設定」を押下すると、POS プリンターユーティリティが起動します。本ツールの使用方法につきましては、本ツールに付属のマニュアルをご参照ください。

※ POS プリンターユーティリティは、[弊社ホームページ](#)のプリンター用ユーティリティソフトウェアの「POS プリンターユーティリティ」のリンクからダウンロードできます。

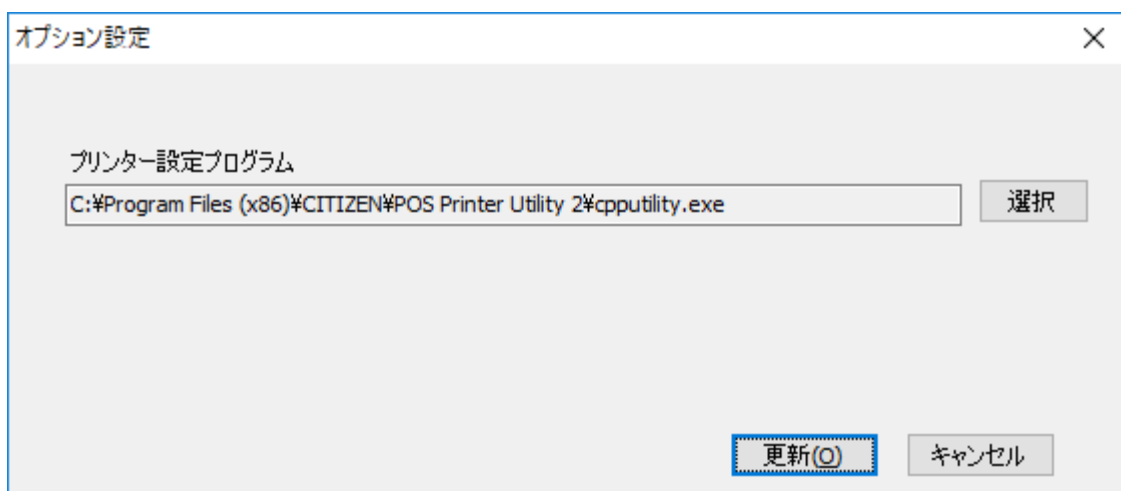
オプション設定

- 1) 「ツール」メニューより「オプション設定」を押下してください。



- 2) 「オプション設定」のダイアログが表示されます。

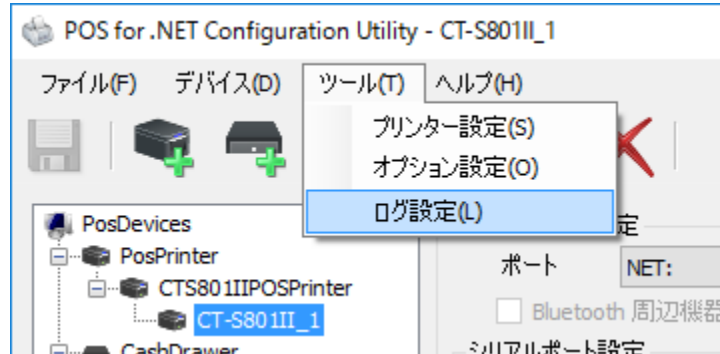
POS プリンターユーティリティをデフォルトディレクトリにインストールしなかった場合、この画面より指定する事ができます。



※ C:\Program Files (x86)\CITIZEN\POS Printer Utility 2\cputility.exe は、POS for .NET ドライバインストール時のデフォルト設定です。

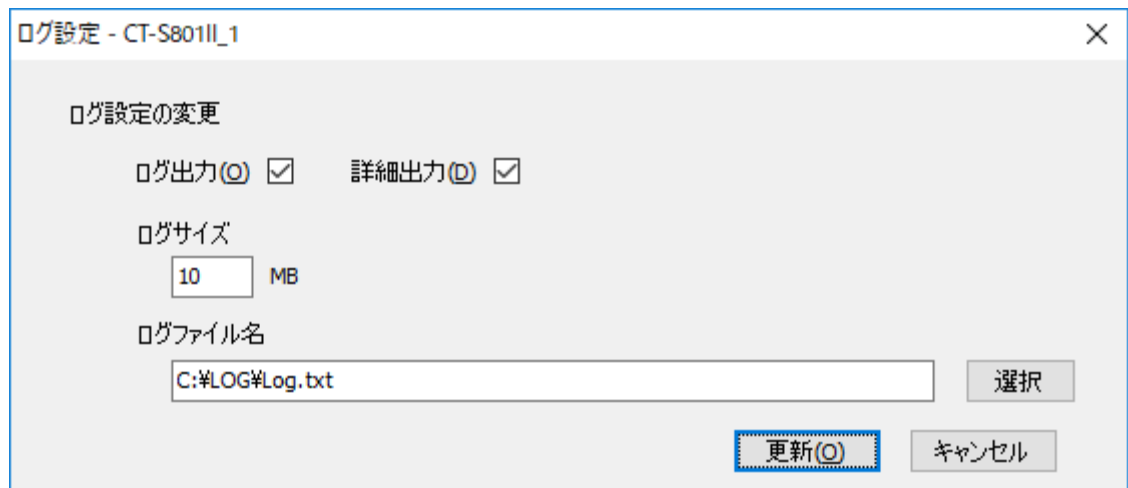
ログ設定

- 1) デバイスビューの一覧よりログ設定するデバイスを選択してください。
- 2) 「ツール」メニューより「ログ設定」を押下してください。



- 3) 「ログ設定」のダイアログが表示されます。

このダイアログでは、ログファイルについての設定をすることができます。初期状態では、ログファイルに記録しない設定になっています。



ログ出力

本設定を有効にすることにより、ログファイルに処理内容が記録されます。

詳細出力

本設定を有効にすることにより、印刷データの詳細が記録されます。

ログサイズ

ログファイルの最大サイズを M バイト単位で設定します。0 を指定した場合は、ログデータは制限無く記録されます。

ログファイル名

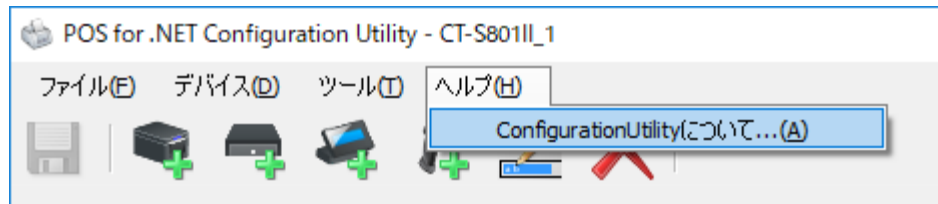
ログファイルのパスを設定します。右側にある参照ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログを使用してログファイルを選ぶことができます。

本設定の詳細については、本製品のアプリケーション開発ガイドをご参照ください。

3.10. ヘルプメニュー

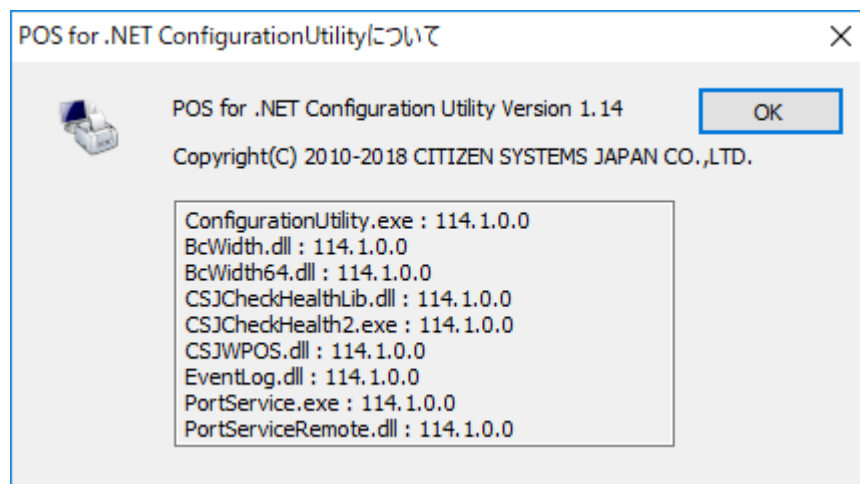
Version 情報

- 1) 「ヘルプ」メニューより「Configuration Utility について...」を押下してください。



- 2) 「POS for .NET Configuration Utility について」のダイアログが表示されます。

POS for .NET Driver / POS for .NET Configuration Utility の詳細 Version 情報を参照する事ができます。



4. プリンター設定

本製品をご使用になる際は、プリンターのディップスイッチおよびメモリスイッチの一部が以下の通りに設定されていることが条件となります。各スイッチの切り替え方法および設定内容の詳細につきましては、各モデルの取扱説明書をご参照ください。

4.1. CT-E301 系

メモリッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカット動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカット復帰	L/F 有効	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
6-1	ドライバ用動作	有効	-
7-6	DMA 制御	有効	-
8-4	行間圧縮	無効	-
8-5	文字縮小 縦/横	100% / 100%	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-4	漢字コード	SJIS:CP932(日本)	-

4.2. CT-E601 系

メモリイッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
1-8	INIT 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカッター動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカッタ復帰	L/F 有効	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
6-1	ドライバー用動作	有効	-
7-6	DMA 制御	有効	-
8-4	行間圧縮	無効	-
8-5	文字縮小 縦/横	100% / 100%	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-4	漢字コード	SJIS:CP932(日本)	-
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効	-

4.3. CT-S251 系

メモリイッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
1-8	INIT 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカッタ動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカッタ復帰	L/F 有効	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
6-1	ドライバー用動作	有効	-
7-6	DMA 制御	有効	-
8-4	行間圧縮	無効	-
8-5	文字縮小 縦/横	100% / 100%	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-3	漢字	有効	-
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS(CP932)	-
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効	-

4.4. CT-S253 系

メモリイッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカット動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカット復帰	L/F 有効	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
6-1	ドライバ用動作	有効	-
7-6	DMA 制御	有効	-
8-4	行間圧縮	無効	-
8-5	文字縮小 縦/横	100% / 100%	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-4	漢字コード	SJIS:CP932(日本)	-

4.5. CT-S255 系

メモリイッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
1-8	INIT 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカッター動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカッタ復帰	L/F 有効	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
6-1	ドライバー用動作	有効	-
7-6	DMA 制御	有効	-
8-4	行間圧縮	無効	-
8-5	文字縮小 縦/横	100% / 100%	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-4	漢字コード	SJIS:CP932(日本)	-
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効	-

4.6. CT-S257 系

メモリイッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
1-8	INIT 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカッター動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカッタ復帰	L/F 有効	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
6-1	ドライバー用動作	有効	-
7-6	DMA 制御	有効	-
8-4	行間圧縮	無効	-
8-5	文字縮小 縦/横	100% / 100%	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-4	漢字コード	SJIS:CP932(日本)	-
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効	-

4.7. CT-S281 系

ディップスイッチ設定

DSW No.	機能	設定	設定内容
8	INIT (シリアル I/F 使用時)	OFF	無効

メモリイッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカット動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカット復帰	L/F 有効	-
3-7	CBM-270 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-3	漢字	有効	-
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS	-
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効	-

4.8. CT-S401 系

メモリイッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカット動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカット復帰	L/F 有効	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
6-1	ドライバー用動作	有効	-
7-6	DMA 制御	有効	-
8-4	行間圧縮	無効	-
8-5	文字縮小 縦/横	100% / 100%	-
8-6	ドットシフト	無効	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-3	漢字	有効	-
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS	-

4.9. CT-S601/651/801/851 系

ディップスイッチ設定

DSW No.	機能	設定	設定内容
8	INIT (シリアル I/F 使用時)	OFF	無効

メモリースwitch設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
1-8	INIT 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカッタ動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカッタ復帰	L/F 有効	-
3-2	PE 時 PE 出力 (パラレル I/F 使用時)	有効	-
3-3	パラレル 31Pin (USB・パラレル I/F 使用時)	リセット	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
6-1	ドライバー用動作	有効	-
7-6	DMA 制御	有効	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-3	漢字	有効	-
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS	-
10-3	ACK 出力タイミング (USB・パラレル I/F 使用時)	BUSY 前	-

4.10. CT-S601II/651II/801II/851II 系

ディップスイッチ設定

DSW No.	機能	設定	設定内容
8	INIT (シリアル I/F 使用時)	OFF	無効

メモリースイッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
1-8	INIT 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカッタ動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカッタ復帰	L/F 有効	-
3-2	PE 時 PE 出力 (パラレル I/F 使用時)	無効	-
3-3	パラレル 31Pin (USB・パラレル I/F 使用時)	リセット	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
6-1	ドライバー用動作	有効	-
7-6	DMA 制御	有効	-
8-4	行間圧縮	無効	-
8-5	文字縮小 縦/横	100% / 100%	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-4	漢字コード	SJIS:CP932(日本)	-
10-3	ACK 出力タイミング (USB・パラレル I/F 使用時)	BUSY 前	-
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効	-

4.11. CT-S801III/851III 系

ディップスイッチ設定

DSW No.	機能	設定	設定内容
8	INIT (シリアル I/F 使用時)	OFF	無効

メモリースイッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
1-8	INIT 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカッタ動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカッタ復帰	L/F 有効	-
3-2	PE 時 PE 出力 (パラレル I/F 使用時)	無効	-
3-3	パラレル 31Pin (USB・パラレル I/F 使用時)	リセット	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
6-1	ドライバー用動作	有効	-
7-6	DMA 制御	有効	-
8-4	行間圧縮	無効	-
8-5	文字縮小 縦/横	100% / 100%	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-4	漢字コード	SJIS:CP932(日本)	-
10-3	ACK 出力タイミング (USB・パラレル I/F 使用時)	BUSY 前	-
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効	-

4.12. CT-S2000 系

ディップスイッチ設定

DSW No.	機能	設定	設定内容
8	INIT (シリアル I/F 使用時)	OFF	無効

メモリースイッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
1-8	INIT 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカッタ動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカッタ復帰	L/F 有効	-
3-3	パラレル 31Pin (USB・パラレル I/F 使用時)	リセット	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
7-6	DMA 制御	有効	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-3	漢字	有効	-
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS	-
10-3	ACK 出力タイミング (USB・パラレル I/F 使用時)	BUSY 前	-

4.13. CT-S4000 系

ディップスイッチ設定

DSW No.	機能	設定	設定内容
8	INIT (シリアル I/F 使用時)	OFF	無効

メモリースイッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4 4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
1-8	INIT 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカッタ動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカッタ復帰	L/F 有効	-
3-3	パラレル 31Pin (USB・パラレル I/F 使用時)	リセット	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
5-5	電源 OFF 通知	無効	-
7-6	DMA 制御	有効	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-3	漢字	有効	-
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS	-
10-3	ACK 出力タイミング (USB・パラレル I/F 使用時)	BUSY 前	-

4.14. CT-S4500 系

メモリイッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
1-8	INIT 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカッター動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカッタ復帰	L/F 有効	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
6-1	ドライバー用動作	有効	-
7-6	DMA 制御	有効	-
8-4	行間圧縮	無効	-
8-5	文字縮小 縦/横	100% / 100%	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-4	漢字コード	SJIS:CP932(日本)	-
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効	-

4.15. PMU3300 系

メモリッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカッター動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカッタ復帰	L/F 有効	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
6-1	ドライバー用動作	有効	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS	-

5. バーコードスキャナー設定

バーコードスキャナーを使用する場合、バーコードスキャナーを OPOS 仕様に設定する必要があります。


5.1. SCNO1-Z1D

下記のバーコードを上から順番に全てスキャンし、設定を変更してください。

	設定開始
	USB VCOM に変更する
	工場出荷の識別コード表を有効にする
	設定終了

5.2. SCNO2-Z2D

下記のバーコードを上から順番に全てスキャンし、設定を変更してください。

	OPOS モードに設定する
---	---------------

5.3. BC-NL3000U

下記のバーコードを上から順番に全てスキャンし、設定を変更してください。

 0006010	設定開始
 1100060	USB VCOM に変更する
 0006000	設定終了

CITIZEN POS for .NET DRIVER 1.14 セットアップガイド

2023/08/25 Ver.1.14.1.5 用

シチズン・システムズ株式会社

<https://csj.citizen.co.jp/>